

# 湖南省タウンミーティング報告書

## 「湖南省版小規模多機能自治の推進について」

みんなで誰一人取り残さない地域社会を築くために……

湖南省 総合政策部 秘書広報課

---

---

## 目次

1	市長タウンミーティングの目的と概要	3
	（1） 目的	3
	（2） 概要	3
2	市長タウンミーティングの実施状況	4
	（1） テーマ 「湖南省版小規模多機能自治の推進について」	4
	（2） 開催日時及び会場	4
	（3） 参加者の状況 1	4
	（4） 参加者の状況 2	5
	（5） 当日の予定スケジュール	5
3	三雲コミュニティセンター	6
	（1） 参加者の構成	6
	（2） 参加者の主な発言内容	6
4	市民学習交流センター	15
	（1） 参加者の構成	15
	（2） 参加者の主な発言内容	15
5	菩提寺まちづくりセンター	24
	（1） 参加者の構成	24
	（2） 参加者の主な発言内容	24
6	石部文化ホール	33
	（1） 参加者の構成	33
	（2） 参加者の主な発言内容	33
7	参加者アンケート	45
	（1） アンケートの実施	45
	（2） アンケート概要	45
	（3） 三雲コミュニティセンター参加者からのアンケート結果	47
	（4） 市民学習交流センター参加者からのアンケート結果	51

---

(5) 菩提寺まちづくりセンター参加者からのアンケート結果	55
(6) 石部文化ホール参加者からのアンケート結果	59
8 新たな広聴の取り組み	67
(1) 湖南省YouTube公式チャンネルによる配信	67
(2) アンケートの概要	67
(3) アンケートでの意見内容	69
9 タウンミーティングを終えて	79

## 1 市長タウンミーティングの目的と概要

### (1) 目的

市では、市民主体のまちづくりを推進するため、市長が市民と直接対話し、市政に関する市民からの意見を聴き、また、市政に対する市民の理解を深めることを目的にタウンミーティングを行っています。

今回の開催に際し、全庁的に取り組んでいる「湖南省版小規模多機能自治の推進」をテーマに市民のみなさんと意見交換を行います。

### (2) 概要

少子高齢化が進み経済や国力はピークを過ぎ、市では今後のまちづくりの方向性を示した「湖南省版小規模多機能自治基本構想」を策定いたしました。

本構想は、地域福祉の更なる深化と、公共施設の見直しを図ることで効果的な行政と地域運営を目指すものです。今後これを推進するために、(仮称)小規模多機能自治センターの拠点として想定する4施設においてタウンミーティングを開催し、住民に対し「湖南省版小規模多機能自治」の説明を行なうとともに、広く意見を聴取します。

## 2 市長タウンミーティングの実施状況

(1) テーマ 「湖南省版小規模多機能自治の推進について」

(2) 開催日時及び会場

開催日（令和5年）	開催時間	会 場
7月16日（日）	13：00～15：10	三雲コミュニティセンター
7月22日（土）	13：00～15：20	市民学習交流センター（サンヒルズ甲西）
8月2日（水）	19：00～20：55	菩提寺まちづくりセンター
8月6日（日）	13：00～16：35	石部文化ホール

(3) 参加者の状況 1

会場毎の参加者の状況	参加人数計				職員参加人数 （説明員含む）
		うち対象中 学校区住民	うちその他地 域住民	無記載	
三雲コミュニティセンター	67人	52人	14人	1人	25人
市民学習交流センター （サンヒルズ甲西）	51人	27人	19人	5人	28人
菩提寺まちづくりセンター	62人	41人	20人	1人	31人
石部文化ホール	118人	92人	17人	9人	42人
合 計	298人				延べ126人

(4) 参加者の状況 2

住所別参加者数	三雲コミュニ ティセンター 7月16日	市民学習交 流センター 7月22日	菩提寺まち づくりセンタ ー 8月2日	石部文化 ホール 8月6日	合計
三雲東小学校区	28人	3人	0人	3人	34人
三雲小学校区	24人	4人	2人	7人	37人
石部小学校区	4人	5人	9人	68人	86人
石部南小学校区	4人	0人	4人	23人	31人
岩根小学校区	0人	4人	4人	1人	9人
菩提寺小学校区	3人	3人	24人	3人	33人
菩提寺北小学校区	1人	0人	13人	1人	15人
下田小学校区	2人	15人	4人	1人	22人
水戸小学校区	0人	12人	1人	2人	15人
市外及び無記載	1人	5人	1人	9人	16人
合計	67人	51人	62人	118人	298人

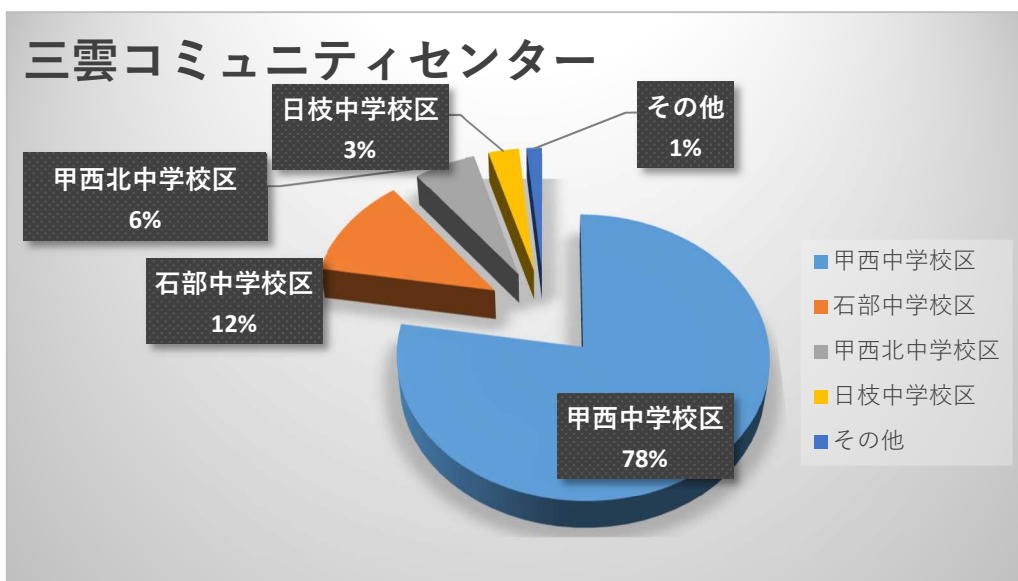
(5) 当日の予定スケジュール

時 間		
13:00～(19:00)	開 会	司会：秘書広報課長
	開会あいさつ	市長
13:05～(19:05)	説 明	総合政策部次長
13:20～(19:20)	意見交換	
14:25～(20:25)	閉会あいさつ	教育長
14:30 (20:30)	閉 会	司会：秘書広報課長

### 3 三雲コミュニティセンター

#### (1) 参加者の構成

甲西中学校区	石部中学校区	甲西北中学校区	日枝中学校区	その他	合計
52人	8人	4人	2人	1人	67人



#### (2) 参加者の主な発言内容

発言者の住所 (小学校区)	発言内容	市の回答
三雲小学校区	湖南省庁舎周辺整備計画の見直しの提案をしないまま、石部文化総合センターや中央消防署の移転の整備に入ろうとしているのか。	平成29年11月に湖南省の庁舎建設及び周辺整備の基本計画ができ、令和5年度から6年度にかけて見直す。その中で、消防署と庁舎の問題を一体的に見直す。見直しにあたっては市民の皆さんのご意見をお伺いします。それを集約化するために地域に分散する拠点を持ちます。何もかもが東庁舎に集まることなく、分散しながらやっていくのが狙いである。
〃	小規模多機能自治を進める上で、小規模多機能自治センター、まちづくりセンター、コミュニティセンター、地域包括支援センター、	まちづくりセンターなど各々の施設同士をどのように関連付けていくのかは、タウンミーティングの中でご意見を伺ってどの機能を拠点に置くのか検討して

	子ども家庭総合センターの行政機能の役割を簡単に説明してほしい。	いく。施設をどのように運営していくかは、自ずと決まってくる。4つの拠点で大抵のことができるよう、意見をもとに検討する。その1つには、オンライン窓口を設けてデジタル技術を使いながら様々な可能性を探り、更に利用者をサポートする体制も必要だと考えている。
"	小規模多機能自治センターを4つの中学校区で分けるとの事だが、これまでの小学校区との関係はどのように考えているか。	行政機能を持つ4つの中学校区の拠点に、小学校区単位で活動いただいているまちづくり協議会をサポートするような役割を持たせていきたいと考えている。
"	小規模多機能自治を担う中心はまちづくり協議会ということだが、まちづくり協議会の体制、権限、予算はどのように考えているか。	体制は資料の6ページのように、あらゆる団体が関わっていくことで課題解決を図っていくのを理想としている。 また、地域づくりを進めていく権限は地域にあり、それを行政がサポートする役割を持っている。地域でルールを決め、そのルールの中で地域自らの課題解決を行っていただくということが、まちづくり協議会や小規模多機能自治に求めている形である。 予算について、今まちづくり協議会は市からの交付金と、区、自治会からの負担金などで運営されているが、国が描くこの小規模多機能自治の地域運営組織の理想は、自己収益を確保していくというのが1つの考え。他の地域ではコミュニティビジネスなどで収益性を高められているところもあるが、それは一部の地域だけ、上手いっている事例はほとんどない。しかし、これからは市の交付金だけではなくお金のかからないような取組、活動というの、市が一緒になって考えていこうという事です。
"	東庁舎の整備基本計画は、当時は建て替えせず耐震補強でいこうじゃないかと市長はおっしゃられ、その時は行政機能を東	



	<p>庁舎に統合化しようと考えていたと思う。それについての答えを出さなければいけない。例えば西庁舎や今の石部文化総合センター、消防署の問題などは基本計画に含まれていたがそれに対する答えを出さずにやっていくのはおかしいと思う。</p> <p>まちづくりセンターやコミュニティセンターそしてこの先作る自治センターはこうだという具体的な各々の役割、行政機能の説明をしてほしい。それなら私たちもそれならできる、出来ないなどの意見ができる。</p>	
"	<p>最後はまちづくり協議会が地域の責任を負うみたいに見えるが、そこに行政がどのように関わってやっていくのかということが見えない。</p>	<p>まちづくり協議会が一番地域の責任を負うように見えるという意見について、当然市は一緒になってやっていかなければならないと思っている。それは地域にお任せするということではなく、課題に対して一緒になって取り組んでいこうという事。</p>
石部小学校区	<p>人口5万人で4つに分けるということだが、仮に湖南市職員を4つの施設に何人配置するのかということが心配であり不安です。</p>	<p>小規模多機能自治センターに配置する具体的な人数はセンターにどのような機能を置くかによってこれから検討していく。</p>
石部小学校区	<p>石部図書館が無くなると書いてあるが、小規模多機能自治センターの「その他地域で役立つ機能」の中に、図書館の貸し出し返却機能を入れることは可能か。</p>	<p>図書機能について、まずはオンラインで本の予約ができたり小規模多機能自治センターで受け渡しができたりということを検討しています。</p>
三雲小学校区	<p>少子高齢化で人口が減っていくという説明があった。湖南市は出生率が非常に低いが草津、栗東などは非常に高い。それは若者世代に良く影響したまちづくりがされている事が反映されていると思う。この話を人口が減るということを前提にされるのは違うのではと考える。</p>	<p>湖南市では実際に大きく人口が減ってはいないものの、合計特殊出生率から見ると明らかに人口減少はもう進んでいます。その中で人口減少を将来的に見据え、総合計画なども含め考えている。</p>
"	<p>本来小規模多機能自治は過疎債を受けているような自治体を中心に国が提案してきたものだとして認識しているが、湖南市は過疎地でもないし過疎債を受けているわけでもない。そこになぜこのようなまちづくりを持ってくるのか。しかも中学校区となると、例えば</p>	<p>現在の人口は大きく減ってなくても、区、自治会の加入率の低下や身近な地域組織の運営のなり手不足なども、たくさん聞いている。それに対応するために、この小規模多機能自治の考え方の中で、湖南市でもそれぞれ</p>

	<p>柑子袋の拠点は三雲。西庁舎や東庁舎に行くほうが早いがこの矛盾をどう考えておられるのか。</p>	<p>の学区で考えていくということが必要という認識のもと進んできた。</p> <p>オンラインでできるような窓口サービスは、家から近い施設へ行っていただくことができます。柑子袋の人が東西庁舎に行って手続きすることもできる。</p>
”	<p>自助・公助・共助ということだが、公助は何をするのか明らかになっておらず非常に不安定だと思う。</p>	<p>例えば地域防災で考えるなら、いざという時の避難行動というのは、まず自分自身です。自身の身を守るということが自助であり、手助けが必要な人は地域の皆さんでカバーをしようという考えが共助です。そこを行政としてサポートしていく体制を作っていくのが公助です。それぞれが補完し合い取り組んでいきます。</p>
”	<p>4つの拠点の具体的な事業が非常に見えにくい中で、石部だけが文化総合センターの除却、図書館とそれから文化ホールの除却がある。市庁舎東庁舎の耐震 I s 値が非常に低い問題が、石部文化総合センターは、新耐震基準をクリアしている建物でありながら、除却をしないといけな。なぜそのような計画になるのか。</p>	<p>文化総合センターの中の文化ホールと図書館を除却する必要性というのは、道路の交差点改良という側面もありますが、まず第1に新石部まちづくりセンターを建設することが目的。今石部地域に無い機能を早く作るため、石部文化総合センターを除却するという計画。</p>
”	<p>県道長寿寺本堂線の右折だまりを確保することの前提として、文化総合センターの除却ということだったが、県は具体的な計画を何年に工事をしようとしているのか。</p>	<p>2023年に改定になった県の道路整備プログラムのアクションプランで実施の位置付けがされており、令和5年度から令和9年度までの向こう5年間で、この交差点改良に着手するという内容です。この計画にも合わせ、用地を確保する目的で市の公共施設の見直しもタイミングを計って進めていきたい。</p>
三雲小学校区	<p>色々な意見が交わされることはとても良いことだと思う。課題があるということで終わるのではなくみんなで議論する。また市民が理解できるまで続けて欲しいと思います。</p>	
三雲東小学校区	<p>国から奨励があるDX化は結構な取り組みだと思う。コミュニティセンターと市をつなぐというだけでなく、家とコミュニティセンターを</p>	

	<p>結んで、内診が受けられて、お薬を処方して家まで送ってもらえる。そこまで考えていただけたら嬉しい。</p>	
”	<p>小学生の下校時の見守り隊というボランティアがあるが人数が少なくなっていると聞いている。これを管理するところがないのが原因だと思う。学校は、自治会が管理して当たり前だと考えている。私はボランティア活動なのだから小学校で管理してもいいんじゃないかなと思う。早く小学校や教育委員会で管理してもらえるようにしてほしい。小学校や教育委員会から依頼があるなら、自治会で人を集める協力はできるが管理運営をしてほしい。</p>	
”	<p>自助、共助、公助というがあまりにも非自治会員が多い。辞めていく人も多いし、転居されてきた人は入らない。自治会に入っていないでもゴミが普通に出せる、自治会に入れば自治会費年間1万2000円取られる、このような状態では自治会に入っても意味がないと言われる。こういうことをしていると自治会は消滅する。災害があったときなどの共助についてはもっと軽く考えたい。自治会に入っていたら、困ってる人がいたら助けなければいけないけど、自分が困ったときにも助けてもらえますよという紹介をして勧誘し、自治会を残していくように努めてほしい。</p>	
三雲小学校区	<p>タウンミーティングに参加していない市民に対して、湖南市版小規模多機能自治の推進についてどのように説明し浸透させるのか。</p>	<p>他の市民さんについてのPRをというようにご意見は今伺いました。</p>
”	<p>小規模多機能自治では、今までとどう変わるかということをもっとPRすべき。今は構想段階なのか、もう具体的にほとんど決まっているのか。</p>	<p>基本構想は「こういう方向で進めていきたい」という内容です。具体的な事業を進めていく際には意見を伺いたいと思っている。今の石部文化ホールの所に新しく石部まちづくりセンターを建設すること、それを周辺道路の問題を合わせて解消していくということは具体的に進んでいきます。これを進めること</p>

		によって住民にはどういったメリット、デメリットを具体的に発信していく。何が無くなるとかそういう問題ではない。
三雲小学校区	地域で助け合いを、維持してほしいという話だったが、それなら小規模多機能自治を計画したり、早急に行っていく必要があるのか。小規模多機能自治を実現すればすべての地域の課題が解決するような説明に感じたが、それは疑問に思う。	
"	基本構想の中身を決めるには現状分析が非常に重要だが分析にはどれだけの時間をかけられたのか。地域や住民がどうなるのか具体的にわからないままタウンミーティングに参加しても、何を質問してよいのかわからない。順番が逆ではないか。タウンミーティングは4か所だけでなく、極端に言えば各自治会ごとに行政が出向いて意見を聞き集約してじっくり時間をかけてまちづくりをすべき。	
"	この提案自体や、これに賛成された議員の皆さんも理解できない。	
三雲小学校区	行政の在り方が大きく変わることは想像できるが、地域ではどういった仕事が振られるのか、誰が責任を取ることになるのか。肝心な所がこれから検討ということなので非常に不安。なのに石部の図書館と文化ホールを潰すことは決まっている。2つあったらダメではないと思うし、魅力的な活用の仕方をもっと考えていきたい。もうちょっと住民の話を聞いてから決めてほしい。	
三雲小学校区	中学校区にこんな行政機能を置くという具体的な中身がわからない。そこを示したうえで、例えば石部文化総合センターがこういう点でそぐわないからこうしてこうと決めればよい。特別委員会の傍聴をさせていただいたが、石部図書館の蔵書を県の図書館の方に何冊移動して、学校には何冊移動するというようなそだけ具体化が先行している話を聞くと納得ができない。	各小規模の拠点で何を求められるかという意見を沢山頂きたい。この4回だけのタウンミーティングでは足らないので、今後この資料と説明を市のホームページに掲載、今回の4回のアンケートも含めて、たくさんのご意見をお伺いしたいと思っている。 とはいえ、求めすぎてもそれを維持するにはお金がかかります。除却といった施

		<p>設もできるだけ維持はしたいんですが、残していくにも経費を要する。そこを上手に効率化して集約化をしながら、いろんなサービスに置き換えていきたい、今まさに考え直す時期であり、その為のタウンミーティングをさせていただいている。</p>
〃	<p>学校の図書室は本とシステムがあるだけでは図書機能は生かされない。絶対人がいないといけないというのは実証済みなんです。色々な子供たちがいるので、どんな本を用意したらいいか、どう並べれば子どもたちが興味持ってくれるかとか、こんな本があるよというのは、やはり人がいてこそ。これは子供だけでなく市民の皆さんにも言えることなので、今おられる図書館司書も削っていただきたくないくらい。いろんな地域に分散化するなら、それに伴って人も配置するのは重要だと思う。</p>	
〃	<p>図書館だけでなく、分散化される場所にも市職員がいて責任を担うのが市民としては安心。</p>	
<b>三雲小学校区</b>	<p>少子高齢化や若者の流出の根本的な原因は何と考えるか。その部分の対策は進められているのか。その原因を押さえて、負担が少なくなり安心して子育てできる対策を、よく見えるような形でアピールしていただき、みんなで作っていきましょうという内容なら良い。</p>	<p>若者離れの原因は結局地域の魅力も一因があるかも知れません。小さい時からこの地域に愛着を持っていたかどうかということが非常に重要だというふうに思っている。住んでよかったなと思える地域をこれからも作り、維持していくために何か手だてを考えていかないといけない。地域づくりは地域を中心にはやっていただきますが、市も一緒になってやっていく。</p> <p>それぞれの中学校区で地域づくりをしようと思ったらやっぱり難しい。区・自治会が、先ほどもご意見あったように、加入率が下がってきて、区・自治会の活動にすら関わらなくなっている地域がたくさんあります。そんな中で地域づくりをもう一度見直していこうとしたときには、最低広くても小学校区域だと感</p>

		<p>じている。あらゆる人がその地域づくりに関わって、もう一度、今後それぞれの地域の魅力を高めていただきたいというふうに思います。そのために市も今から、地域と一緒にやっということとあります。</p>
三雲東小学校区	<p>昨日自治会長会がありました。うちの区長は今日のタウンミーティングの議題を分かっていなかった。もっと前もって皆さんに知ってもらってほしいし、区民の皆さんに伝えてと言われれば伝えます。それならもっと人が来てくれると思う。そうでないとタウンミーティングに来て内容がよく分からない人も多いと思う。</p>	<p>このタウンミーティングについての周知の部分で、まだまだ市は足りないんじゃないかというご意見は伺っておく。市の広報やホームページをどれだけ見られるか、またホームページがどれだけ見やすい、見づらいということは意見を頂いている。様々な発信手段がありますので、一番効率的に良いものを今後も考えていかなければならないと考えている。</p>
三雲東小学校区	<p>自治会に入る人が少ない件は、市が勧めることはできないか。三雲区は1400軒ぐらいあるが700軒ぐらいが自治会に入っていない。入っていない人のほとんどはアパートやマンションに住んでいる人なので、建築確認申請などをすると市から自治会に入るよというってもらうことはできないのか。</p>	<p>転入の際にお住いの区についてはご案内させていただいて、区への加入に対しては区長さんのお名前と電話番号を伝えているが、手続きをされない人もおられることも聞いている。今時代が変わりつつあるのか、区・自治会に入ることのデメリットが見えてくるのかなと感じている。まず区・自治会の課題などを地域の皆さんと一緒に考えていき、それをまた学区の問題として共通課題があるなら、三雲のまち協という範囲での共通課題を、また皆さんで考えていくということと解決を図らないと難しいと感じている。</p>
三雲小学校区	<p>国の進めているのは小学校区だが、湖南市はなぜ中学校区なのか。</p>	<p>現在市は小学校区ごとにそれぞれのまちづくり協議会で活動していただいています。中学校区でまちづくり協議会を1つにするという訳ではない。今までのまちづくり協議会という小学校区単位はそのままに、行政が地域サポートをしたりする拠点を中学校区で作っていく。一般的な手続きであれば、お住まいの学区に関わらず近い拠点で手続きしていただくことができる。</p>

## 7月16日（日）市長発言内容

どれだけ努力しても人口は減る、これは認めざるをえない現実です。湖南省は人口が減少していないように見えるが、実際は3500人を外国の方がカバーしておられます。

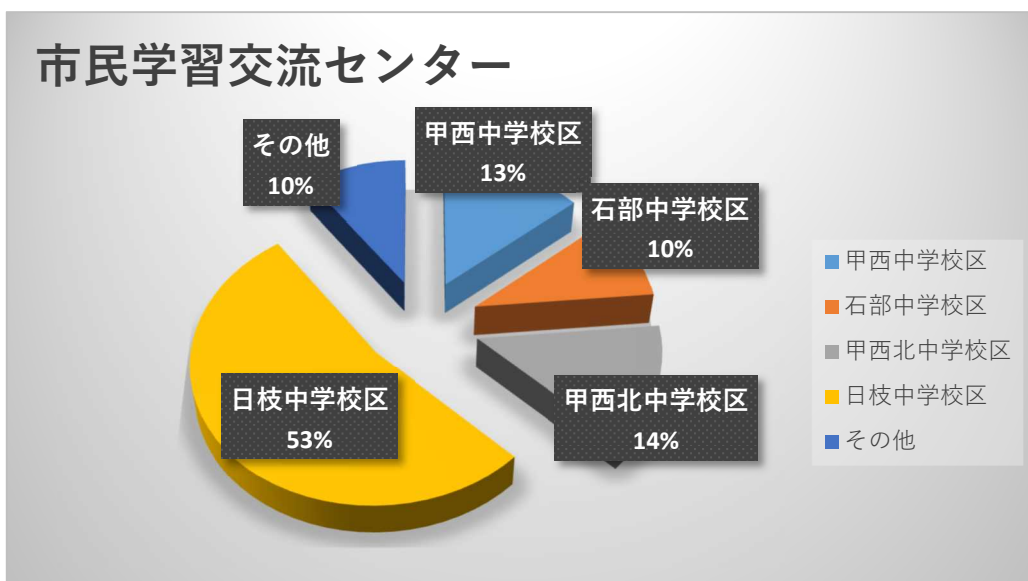
その中でできる限り行政サービスを落ちないようにしようとしています。耐用年数から見ると（文化総合センターは）平成元年に建てたので、昭和56年以前と違うからまだもつんじゃないかと言われる。しかし機能性や使い勝手、他の建物他のサービスをどう展開するかなど総合的に考えたら、どういう手順で手をつけないといけないかということもあります。耐用年数だけに頼ったらサービスが落ちます。耐用年数だけでなく利用しやすさと他の施設も考えての話をしています。まだ説明が足りないのだと思いますが、現実には即して準備をしなきゃならないことがあるだろうと。サービスが落ちないようにするためどうするかということに目を向けていただきたい。こういう風になった方がいい。サービスが落ちないようにこうしようということは十分考えていきますが、やはり非常に厳しい局面になりつつあるということもご理解いただきたいと思います。

そして区・自治会、まち協にお願いしていることは今まで通りお願いしていかざるを得ないと思います。皆さんとともに行政としての役割も果たします。今後の行政サービスが落ちないようにしようというための一つの手だてだと思っていただきたい。

## 4 市民学習交流センター

### (1) 参加者の構成

甲西中学校区	石部中学校区	甲西北中学校区	日枝中学校区	その他	合計
7人	5人	7人	27人	5人	51人



### (2) 参加者の主な発言内容

発言者の住所 (小学校区)	発言内容	市の回答
菩提寺小	石部図書館の廃止は理解できるし、蔵書を4つの拠点で使いやすく有効活用できるなら、それは良いアイデアだと思う。今も会長はじめ、図書館協議会の委員さんを通じて教育長さんが住民の声を吸い上げて下さりありがたい。これから進捗を委員さんに伝えてほしい。	それぞれの小規模多機能自治センターになる施設の部屋の状況を踏まえ、その使い方を市民の皆さんと協議しながら検証していく。図書館協議会の方から色々など意見を聞かせて頂いているので、引き続き協議させて頂きながら考えていければと思う。(教育部長)
石部小学校区	小規模多機能自治を始める理由として、担い手不足、経済財政規模の縮小、行政サービスの存続ということになっているが、他市との合併によってそういう行政の効率化を図り、今ある問題を克服することはできないのか。	合併に1番最初から加わった1人として、分かる範囲で具体的に言いますと甲賀は7町で、まず7町で1つにならないか、7つ或いは2町で合併、或いは合併しないという考えがあったと思う。人口減少、サービスが落ちることに



		<p>ついて解決方法としては、とりあえず2町で石部と甲西が合併するとなったことが、いきさつとしてあったと思う。将来としては平成の合併だけでは物足りないこともあるでしょうが、2町で合併したことでサービスが落ちていった、もう1度考え直そうじゃないかということもあるかもしれません。それは今後の課題としてあると思いますので考えていきたいと思いますが、平成の大合併の後さらに合併するかはまだ検討もなされていない。具体的な俎上には載っていない。と思っている。（市長）</p>
<p><b>菩提寺小学校区</b></p>	<p>小規模多機能自治は非常によい仕組みだと思う。</p> <p>今のまちづくり協議会については地域の様々な問題を解決するシステムにはなっていないのではと感じる点が多い。私も区長としてまちづくり協議会に出席しているが、結局は区でという話になる。全体での問題や解決方法は全く議論もされないし、目標設定もない。その原因は誰かがアドバイスするというシステムが結局ないということだと思う。まち協に任せたら任せっぱなし、やりっ放し、お金出しっ放し、結果について協議検討されることもない。今後この共助の部分がまち協と区でなされると思うが、誰かが管理しチェックする機能が必要なのではと思う。</p>	<p>現在のまちづくり協議会は、イベントを中心にという形になっておりまして、その地域の身近な問題の改善についてはサポートが必要であると考えている。今後小規模多機能自治センターを作る際は、そういうまちづくり協議会をしっかりと指導、育成できるような形でやっていきたい。今後はイベント以外にも、子ども食堂や高齢者の見守り、子どもの見守りなどをしっかりとやっていく方向で進めていきたい。</p> <p>（総合政策部長）</p>
<p><b>下田小学校区</b></p>	<p>少子高齢化により、湖南省の財政は歳入も減ってくる状況で今まで通りのサービスを継続できるかというのは難しいと思う。そういう意味で共助は重要になるが、区長をしている身で悩んでいる。あるべき姿と逆行していくような形があり、今後は逆に低下していくことが不安。我々と行政が協力することは重要だし、行政から丸投げになるような形だけは絶対避けてほしい。</p>	<p>主に共助の中でも例えばまず近所がおられて、防災でホース持てないけれどもしっかりと逃げるということ、その命を助けるということが大事になってくるのではないかと考えている。ごみ出しの話では、ごみを出せないというところに、じゃあ行ってあげるなどの共助は、本当に近所の人と人との助け合いの中で出来るのではないかとと思う。この部分について行政もしっかり認識をしながら</p>

	<p>例えば、防災活動での消火訓練では我々はホースを持つことも出来ない。これでどうやって防災できるのか。あるべき姿は理解できるが、どのように近づいていくのかは、我々と行政でよほど綿密な連携とっていかないと絶対出来ないと思う。</p>	<p>ら、共助について丸投げすることなく、市民の方と様々な議論を繰り返しながら、このまちづくり、小規模多機能自治を進めていきたい。（総合政策部長）</p>
”	<p>避難行動要支援者に関して、「個人情報について同意しますか、それで条件満たせば要支援者になる、書類がくる。そしてそこに行って、こういった間取りであるとか、緊急連絡先とか全部調べて提出をしてくれ」でも近所の方は誰も受けてくれない。</p>	
”	<p>ごみ捨ても我々は自治会の人と頑張って現在はやっているが、これから先に年を取ればできなくなる。じゃあ次の若い人が担ってくれるのかという疑問。行政はそれに対する理解は十分してもらわないといけない。</p>	
菩提寺小学校区	<p>小規模多機能自治における自治会会員の位置付けと役割はどうなりますか。</p>	<p>課題として常々認識しているところです。自治会からまちづくり協議会、地域の中の代表者会議が具体的に開催されており、自治会とまちづくり協議会が協力してやっていくという位置付けです。その中でまちづくり協議会がイベントだけでなく、持続可能な住みやすいまちづくりを展開するため、小規模多機能自治センターを置いて、まちづくり協議会にもしっかりとアドバイス等していく。（総合政策部長）</p>
”	<p>病気の方、老々介護、ヤングケアラー、ひとり親、認知症家族を介護している方は、他人のサポートはできない。小規模多機能自治に協力できない。</p>	<p>そこに住んでいる人は家族単位でも個人単位でも小規模多機能自治という形のメンバー構成から省くということとはありえない。みんなが助け合ってやっていこうということ、その地域の中で生活しているものが除外されるということはない。</p>

		<p>自分も含めお年寄りの方が消火活動においてホースを持って何かするというのではなく、どこで誰がどういう生活をしているのかを個人情報に配慮しつつリアルタイムで把握して、助けに行かなければならないときに助けにいかないと、お互いに思っていてほしい。(市長)</p>
下田小学校区	<p>小規模多機能自治は大事業なのに説明が短すぎる。合併時の合併協定書があると思うが、ここまでさかのぼってまちづくりについての議論がされたかどうか聞きたい。</p>	<p>昭和の合併から平成の合併を経て、こういう形が理想やと思いつつも、まちや人をつくっていかうと思いつつきたけども、やはりその限界はあったと思います。4つのブロックに分割すると言われるけど、分割ではない。また、4つのブロックに市の職員を分散するという形ではない。1つのまちに1つの中心を作るのが、まちづくりの理想かもしれないが、それは今後ともできない。それなら4つの地域をうまく利用してやっていかなくてはならない。(市長)</p>
"	<p>変わることで私自身はどう関わってくるのかが見えてこない。4分割するのであれば、職員をきちんと配置しないと行政の仕事はできない。地域の中に職員が入り、地域の暮らしを直に知ってもらうのも公助だと思う。それあつての共助、自助だと思う。</p>	<p>まず小規模多機能自治とは自分たちのまちを自分たちで守るということですが、しっかりその地域の中で、年代や性別、発想が異なる団体がたくさんあると思います。そうした組織の連携を深めながらそれぞれの長所を生かして、補完しながら、地域の課題を解決して、地域の振興を担っていくことが小規模多機能自治だと考える。出張所ではない。各拠点には、地域のことをよく知った職員を軌道に乗るまでは配置する方向で考えている。</p> <p>(総合政策部長)</p> <p>出張所は主に諸証明の発行、東庁舎への文書の取り次ぎなどをしていましたが、下田出張所においては、戸籍の届出の受付等、やはり専門的な職員が必要で、やれることが少なかった。証明の発行については、ここ3年間で</p>

		<p>コンビニ交付が進み、全体の証明書発行件数としては今までと変わらない中で、その6分の1ほどはコンビニ交付によって諸証明を取得いただいているのが実情。(総務部長)</p>
”	<p>D X化といってもお年寄りには馴染めない。15ページで言われているような相談窓口を作って、相談に乗るのは誰なのか。職員なのか。</p>	<p>今あるものをなしにしてサービスが落ちるのではとおっしゃいますが、時代は変わりつつある。デジタル化という形を受け入れざるを得ない。今までの時代の良さを残しながらも、これからの時代についていくためには、こういう形のサービスを展開せざるを得ない。時代は変わりつつあるということを認めていこうという、前向きな話をこのタウンミーティングでしてほしい。(市長)</p> <p>17ページでいう窓口というのは、まちづくりセンターの職員に相談するというのではなく、専用窓口で東庁舎の職員とTV電話を通じて相談、場合によっては手続きも完了するといった深掘りができるような窓口を考えていきたい。そういう意味で従来の行政機能を付け足すという部分はD Xでカバーしたい。(総務部長)</p>
石部小学校区	<p>小規模多機能自治の成功を握るのは地域のまちづくり協議会だと思う。私個人的に2つのサークルで活動しまして、その度にいろんな地域のまちづくり協議会の方に出向いて様々な事を聞いている。この春に各まち協がどんな文化活動をしているのかインタビューをするために、7つのまち協の議事録をすべて入手し確認した。その時感じたのは、各まち協の現状はほとんど個人の力量に頼っているということ。D Xもほとんど生きていないし、まち協のホームページも殆ど更新されていない。新しい組織図の中でのまち協の在り方について、ぜひ第三者委員会を作</p>	<p>地域のまちづくり協議会はコミュニティプランを作って頂き、そのコミュニティプランに基づいて、活動していただいている。地域で何を活用し、何をやっていくか、近くに店があるところ、無いところ、病院があるところ、様々な土地利用の方法も違っている、地域の中で検討しながらやっていただければありがたい。市はそれをサポートする形で今後取り組んでいきたい。(総合政策部長)</p>

	って検討して頂き新しい出発点にしてほしい。	
下田小学校区	町の中心部から離れた下田に住む住民としては、小規模多機能自治で甲西、甲西北、石部、日枝中の学区に拠点を置くということで、うれしく思う。よく話を練って頂いてより皆さんのためになるような場所になってほしい。	
水戸小学校区	近いところに便利なサービスができるのであれば良い案だと思う。小規模多機能自治には賛成だし、少しくらいの距離なら高齢者になっても歩いて来られると思う。	
”	拠点ができて初めの頃は地域を知っている職員を配置するとの事だが、本当に知っている人がくるのか疑問。ごみ1つにしても地域にいないとわからない。行政の職員も覚悟を持って地域に入ってきてほしい。地域に任せたとはいえないでほしい。	職員も地域に飛び出していないといけない、参加するように周知していきたいと感じている。(総合政策部長)
下田小学校区	まちづくり協議会の個人の力量によって大分差があると意見されていた方がいたが、4つの小規模多機能自治が始まったら差があってはおかしいので、行政の職員が入ってしっかり進めてほしい。初めだけ行政の職員を配置するのではなく、ずっと関わって頂かないといけないと思う。先日から公共施設の申込がインターネットで出来るようになったのも、実際は手続きが大変だった。まち協によって言っていることが違うし教育や周知がされていない状態。未永く行政がしっかりサポートしてほしい。	
下田小学校区	4か所の小規模多機能自治センターの具体的に何をどうしていくのかは前もって知りたい。令和5年ではこのぐらいのことまで、令和6年はここまでいきたい、基本方針はこうだ、理念はこうだ	小規模多機能自治センターを作り、地域包括支援センター、子ども家庭総合センター等エリア中にはこのような機能があります。各エリアに同じような機能を整備する。

	<p>など、この先どういうステップで進めていくのか知りたい。</p>	<p>地域の小規模多機能自治センターの機能を固め、そこをサポートしていくための人について具体的なものになってきます。今はっきりとお答えができないのはそこが固まっていないです。そこを固めていくために意見をお伺いしているわけです。</p> <p>小規模多機能自治センターの機能を固めますと、今度真ん中に集約する東庁舎とか、その周辺の集約化の機能が見えてくる。</p> <p>公共施設を機能的なものを集約するものと、地域に置いていくものを検討して、その上で東庁舎と周辺整備の計画にも繋がってくる。こういう流れです。</p> <p>(総合政策部次長)</p>
	<p>元となるのはやはり我々住民です。でも組織率が悪い。大きな改革をしないとこの計画もうまく進まない。ごみステーションも市のお金で勝手にできているわけではなく、自治会のお金も入っている。外灯も半分は区や自治会のお金が入っている。夜中の10時11時でも女性の方が歩いて帰れるようにしている。自治会非会員が通った時には電気を消したい。ごみステーションも非会員さんは直接ごみ処理場に行ってくれ、これくらい強いアピールを市は担ってほしい。自治会加入の基準を市がしっかり決めるべきではないか。</p>	<p>確かに私も市内の自治会に入っているが、その加入率30%程度です。実際に自治会の加入については、まずは声かけをしっかりとやらせよう。ただ声かけをやりましたが、強制的にはできない。地域社会を形成していく中で、自治会の加入をされない方についてどう考えていくか、自治会の加入促進について、今後市もご協力させていただいて自治会の方に加入の促進をしたい。(総合政策部長)</p>
<p><b>下田小学校区</b></p>	<p>センターにどういう機能持たせるのか、本当に大事なのは地域の特性を生かした経済活性化だし、それをどうやっていかを行政と地域でしっかり考えて目指していかないといけない。そうでないと自治会に若い人は入ってこない。</p>	<p>自治会・地域を維持するにはやっぱり経済の活性化は大事であると思っております。人に住んでいただくには企業の誘致が必要だと考えています。そうした中で高松公園の土地への誘致を推進していきたいと思っておりますし、他には菩提寺学区のように商店が少ないところへ商業施設を持っていか、地域の中でしっかりとした介護や様々な相</p>

		談が解決できるような中学校区を目指していく。(総合政策部長)
<b>菩提寺小学校区</b>	防災の部分が抜けている点。災害が起こったときに、まちセンが避難所になっているが毛布とか備蓄用品が全くない。菩提寺小学校にはあるがお年寄りが坂を登るのは困難があるし、近いのはやっぱりまちづくりセンターだと思いが備えがない。防災拠点としての機能も入れたほうが良いのではないか。	防災拠点について、小規模多機能自治センターの中では、避難の場所、備蓄など拠点としての機能が必要というようなご意見ありがとうございました。(総合政策部長)
<b>下田小学校区</b>	市長は、合併協定書で縛られることは、今はないと言われた。合併協定書に基づいて、今、市長が進めようとする、4つの小規模自治はどうなのかいうことをきっちり検討した上で話を進めている。我々から見たら、合併して良かったなっていうのはだんだん少なくなった。先ほど図書館の話が出ましたが、図書館1つつぶしてしまうわけですよね。そういうところから行政に対する失望がどんどん出てきているのではないかと私はそう思う。合併時点では、より市民には便利で財政的にも良くなると大々的に宣伝されて合併へ進んだ。これは協定書をもう1度十分検討されて、しっかりとしたらそういう目標に向かっていく、このことが大事だと思う。	合併の時に決めたというのは、将来のものを縛るものは協定書にはないです。その時生きている者がそこに置いて考えようという形です。縛られる内容まで具体的に細かいところで決められた合併協定書の中にはないです。その都度修正しながら、時代を見ながら決めていっているのでありますし、その手続きに基づいて今までこの20年間進んできたと思います。時代を読みきれなかったか或いは時代が変わってしまったという形で、その時その時に1番良い方法で決めていっているのも確かです。この6ページにあります地域まちづくり協議会ですが、まちづくり協議会の構成メンバーはここに住んでいる人すべてが構成メンバーであります。もう1つはそこで商いや事業を展開している人、医療機関をやっている人、介護サービスをやっている人も構成メンバーです。岩根診療所や水戸診療所、石部にある医療機関も構成メンバーです。三雲学区における医療機関がないとなると、そういった時には石部の医療機関を使いますよね。自分のエリアにないサービスは隣のエリアにあるサービスを利用し、そういう形で生きていかざるを得ないというところに自分たちがいるわけです。1つのまち協の中のエリアにあるもので完結できないものは、隣のエリアで利用させてもらってい

		る。人間だけでなく、いろんなサービス、提供機関も地域まちづくり協議会のメンバーやと私は思っています。解釈していません。（市長）
”	<p>少子高齢化で地域での仕事の担い手が少なくなっているという話なのに、今まで以上に地域の人にやってもらうという提起がされているので、不安ではない。</p> <p>小規模多機能自治を実施するにあたって、案を作っていくときに、市民が参加できる機会を設けて納得できる形で進めてほしい。</p>	

## 7月22日（土）市長発言内容

合併時に決めたことはそれなりに把握しておりますが、あれから20年経って我々を縛るというものはないし、また縛られるものではないと思います。今生きている我々が1番良い方法を選んで、このまちを作り、人を作っていくということにつきると思います。曖昧な意識じゃないです。私もずっと書類を見直していますが、合併協定書の中に決められたこと、湖南省公共施設白書とか色々あります。建物も古くなっていくし、公共施設等総合管理計画っていうのはその都度作っています。その中で我々が今現在やれる知恵と、財力、人的な支援という中で、このまちを作っていくと決めています。

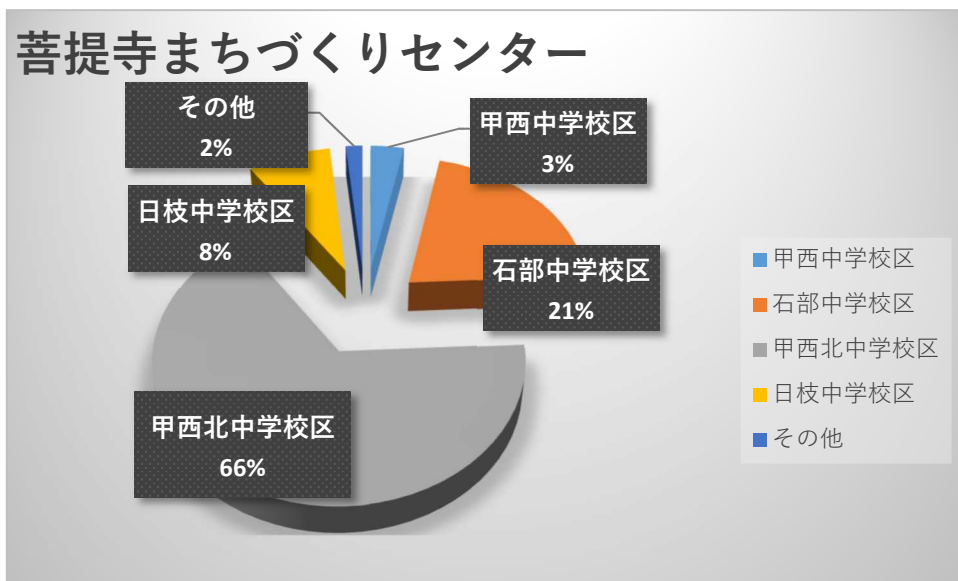
そして今は最大限できることをやっていくとお伝えしています。それで除却しないといけない。次の時代を迎えるにあたって、マイナスのことばかりしている訳ではない。次の時代の準備のためには身を軽くしたいけれど、こういうサービスは展開していく、と思っています。あるものが無くなるかもしれないし、それは認めたくないけれども、しかし準備をしたい。こういう思いでお話しさせてもらっています。



## 5 菩提寺まちづくりセンター

### (1) 参加者の構成

甲西中学校区	石部中学校区	甲西北中学校区	日枝中学校区	その他	合計
2人	13人	41人	5人	1人	62人



### (2) 参加者の主な発言内容

発言者の住所 (小学校区)	発言内容	市の回答
石部小学校区	<p>図書返還機能は検討するとのことであったが、4つに本を分割しないのか。こども、高齢者等も図書館機能は大事である。本の貸出機能だけでなく、本を並べてもらいたい。これを決定するのは議員さんですが、議員への報告はどのようなのか。</p> <p>菩提寺まちせんのイメージは最悪だと言っている人もいる。設計の段階で参画できることは可能か。</p>	<p>石部の図書館の本をそのまま4つの小規模多機能自治センターに置けるのかどうかということも含めて、地域の方と一緒に考えていく問題であるというふうに考えております。ご利用いただけるものであれば、ぜひご活用いただきたいと思っている。(教育部長)</p> <p>議会では、小規模多機能の特別委員会を作られ、議論をしていただいている。タウンミーティングが終わった8月17日にしっかりこのタウンミーティングがどうであったかということを行政側から報告をし、議会において話をさせていただこうと思っている。</p>

		<p>まちづくりセンターの建築にあたって、様々な協議がなかったのかという話がありました。これにつきましては、まちづくりセンター、石部の方につきましても、菩提寺のような規模をという話がありましたが、これは当然、皆様と、このような設備があるよねという話をしながら、建築に向けて進めていきたい。(総合政策部長)</p>
<p><b>菩提寺北小学校区</b></p>	<p>窓口業務サービスを改善していくという説明であったが、それをするならば8年前の出張所廃止を撤回してもらいたい。DX化とあるが、マイナンバーを活用しなければならないのか。また、石部文化総合センターが解体されるということであるが、なんでそうなっているのか。何によってそれは廃止されるのか。なんとか計画によってするものか。市民に対して周知徹底されたのか。</p> <p>施設の統廃合を図ることが、湖南市の図書館も文化ホールも残していくのだという、そこらの見解を聞かせてもらいたい。</p>	<p>窓口サービスのDX化について、過去に出張所がありましたが、出張所は廃止した。今度提案している窓口サービスのDX化というのは出張所の復活ということではなく、広くサービスができるような仕組みを作りたいという構想。マイナポイント付与申請以降、テレビ電話で対面でオンライン窓口として実証実験を行った。今度のDXのイメージもそういったものをもう少したくさんの湖南市の行政サービスでやりたい。</p> <p>国民健康保険の脱退手続きや上下水道の水栓の中止とか開始手続き、国の肝いりでありますけれども転入出の手続きが、オンラインでもできるよう一通り準備している。これはマイナンバーカードを持っているかどうかは関係ない。本人確認ができれば良いことですので。そういったマイナンバーカード所持者だけのサービスではない。</p> <p>2点目の公共施設の総合管理計画について、資料の方にもあるように、平成28年3月にできております。これは、それ以前の公共施設白書で公共施設の老朽化とか、利用の実態とかそういったことを明らかにした。年間小規模な修繕ばかりをやっておりますが、大体、年間3億ほど修繕料がかかっている。これをなんとか少なくしたい。それは当然、運営にかかるコストを少なくするという努力も必要ですが、それだけでは限界があるということで、公</p>

		<p>共施設の床面積自体を減らす。同じような機能のあるものを統合して減らすと、そういったことが目的でございます。最終的には、皆さんの負担になる建物の修繕、維持管理にかかる経費を減らしたいというのが、計画の主旨です。平成28年に策定した時には市民に意見をいただいて策定した。</p> <p>今現在は、総合管理計画、それと個々の施設の個別施設計画をホームページに掲載しています。（総務部長）</p>
<b>菩提寺北小学校区</b>	<p>全国で天災が増えている。聴覚障がい者は情報不足。アイドラゴンの設置について団体から市町にお願いしているところ。湖南市においても設置していただけたら、それを実績に県内に広がっていくので先駆けて設置をお願いしたい。</p>	<p>今年、予算を確保しているので、4ヶ所に設置、今のところ、今年中に設置ができる見込みかなということで進めております。（健康福祉部長）</p>
<b>岩根小学校区</b>	<p>誰一人取り残さない地域社会を築こうということだが、今、運転免許をもっているので行きたいところに行けるが、私は本を読むのが好きなので甲西図書館にもよく行く。今は本を買う所が遠方にしかない。運転免許を返したらどうしようかなと思っている。提案だが、図書を積んだ車で定期的に回って来てもらいたい。DX化は歓迎すべきであるが、アナログとの半々の自分にとって、聴覚障がい者の方にICT講座をやっていただきたい。</p>	<p>小規模多機能自治センターが整えば、そちらに予約していただいた本をお届けして、受け取れるようなシステムの構築を考えている。また、車に本を積んで、皆様の近くに行かせていただく、移動図書館車マツゾウくんというのが今も走らせていますが、そちらの方もあわせてさせていただいて、実際に本を見て、借りてもらえるように充実していきたい。（教育部長）</p> <p>多機能自治センターでのDX化については、何か操作していただいたり、パソコンの入力をしていただいたりするところとしては基本考えていない。</p> <p>もう1つスマホ教室について、今年も、通信業者に委託して教室をさせていただいている。周知が十分でないかもしれないけれどもぜひとも、利用していただきたい。（総務部長）</p>
<b>菩提寺小学校区</b>	<p>15頁について、これを推進するのがセンターということだが、このセンターの構</p>	<p>小規模多機能自治センターは、菩提寺まちづくりセンター、石部まちづくりセ</p>

	<p>成は？7つに置くのか、4つになるのか。自治会との関係は。</p>	<p>ンター、三雲コミュニティセンター、市民学習交流センターに設置する。</p> <p>小規模多機能自治で何をするのかという部分の中で、高齢者の見守り、子どもの見守り、防災関係につきまして、行政ではなかなか把握できてないところもあるので、地域の中で見守りをしていただければありがたい。</p> <p>(総合政策部長)</p> <p>15ページの絵にありますように、真ん中に地域まちづくり協議会がある。この機関組織は区・自治会ですので、区・自治会が今は中心となっているまちづくり協議会がこの構成メンバーということです。(総合政策部次長)</p>
<p><b>菩提寺小学校区</b></p>	<p>こんな大事なことを唐突にされ、残念です。</p> <p>理屈としてわかるが、実感としてわからない。具体的にどうなるのか見えてこない。いろいろ悩みをかかえている。じっくり市民の話を聞いてみてください。</p> <p>合併後、消防署の位置が気になる。川の北南にあるべき。もっと時間をかけて市民に説明をしてもらいたい。市会議員とも十分に意見を交わしてください。</p>	<p>このタウンミーティングの結果につきましては、8月17日議会の小規模多機能の特別委員会に報告する。そこで議論が行われる。</p> <p>消防署については、現在東庁舎の近くと西庁舎の近くに、川の南にございます。北側がないという意見をいただきましたが、その辺りも庁舎計画と含めまして、実際に消防署の位置がどこが良いのか、消防署の中で出勤される部分の中で、万遍に平準化されてるところはどこなのかということも考えながら今後検討して参りたいと思っておりますのでございます。(総合政策部長)</p>
<p><b>菩提寺北小学校区</b></p>	<p>内容は面白い。地域の担い手がなかなかいない。自治会の役員をやるっていうのは退職者がするのが定石であるが、実際は断られる。20代～40代の方たちのTMへの参加はどれくらいなのか。地域活動における会社の役割はどうなっているのか。ここに対しての働きかけができないのか。区の班長会議は20時からしているが、これも会社の終業に合わせてのこと。もっと自治会活</p>	<p>地域社会を形成していくには、民間事業者の協力も不可欠。</p> <p>企業における社会的責任についても、地域の社会を形成していく中で地域のまちづくりに寄与する部分について、働きかけが必要かと感じた。(総合政策部長)</p>

	動に協力していただけるような働きかけと、会社で評価をしてもらいたい。	
<b>岩根小学校区</b>	中心が防災ということであるが、これに費やす時間は大きい。果たして各地域が同じレベルで活動できるのかが不安。一定の動きがスカッとできることが重要であると考えている。こういうコミュニケーションの場は非常に大切である。こういう場に議員さんももっと来てもらいたい。こういう意見を聞くチャンスだと思うのに残念である。共助、自助、公助のなかで共助が大きいのは地域の役割が大きいのだと感じる。もっと市とコミュニケーションをとる機会を進めてもらいたい。	地域において防災出前講座を実施し、職員が出向いて、防災に対する意識を向上に努めている。 防災の関係では、市内に約300名程度の防災士がおられる。そうした中で、どういふ行動を取るのかというのはしっかり出前講座の中で、地域の特性もございまして、やっていきたいなと思っている。 議員の皆様が来てないという話でございしますが、議員の皆様も、この3回目になります。来ていただいている方多数でございまして。この中にもおられます。(総合政策部長)
<b>石部小学校区</b>	費用面について、統廃合することで大きく費用が削減することがわかったが、4箇所サービス分散させた場合にかかる費用についてもわかりやすく、見えるようにしてもらえると、もう少しみんなが地域に目を向けてくれるのではないかと感じました。	今後どのような形で考えていくのかというのは、シミュレーションをしながらやっていきたい。やはり次世代にツケを残さないような形でしっかりその辺りも考えていきたい。(総合政策部長)
<b>菩提寺小学校区</b>	公助の限界と書いてあるが、納税者の前では失礼な言い方。職員何人いるのか。それを明らかにしろ。	公助の限界というのは、例えば、よく新聞で見られるような孤独死とか、隣人宅の新聞が最近たまるとか、そういう部分については、公助ではやっぱり限界がある。地域の社会の中でしっかりとした見守りが必要という中で、公助の限界という言葉を使わせていただいている。(総合政策部)
<b>菩提寺北小学校区</b>	担い手不足。若い人たちが、参画できるように、子育て世代や、働き手の意見も聞けるような場をもって、すすめてもらいたい。将来の湖南省に期待してもらえるような施策であってほしい。若い方の意見が聞けるような方法をどのように考えるか。	1つの例は、SDGsのカレッジという今若者に、まちづくりについてどう考えるのかというセミナーをしているので、そこで意見をいただく、またヒントをいただく。それと参加がなかなかできないという部分でございまして、今日もタウンミーティングの後に、アンケートを皆様に配布しているが、このアンケートはホ

		ームページの方にも載っております。QRコードもついてやっているので、若者の方にアンケートを答えていただくため8月いっぱいこのアンケート期間とし、意見聴取をしたい。また、このような取組について、お盆に皆様お出合いされたときに、若い方にお話をさせていただければありがたい。(総合政策部長)
菩提寺小学校区	6月に図書館協議会で閉館後の図書の利用の方法について、丁寧に説明をお願いしたい。いまやっていることのPRもがんばってやってもらいたい。	意見を踏まえ、しっかりと図書館で、今後の湖南市立図書館をどのようにしていくのか、皆様の期待に応えられるように進めていきたいと思う。(教育部長)
石部小学校区	財源がネックであるということだが、それが見えてこないのもう少しわかりやすく説明をきけるような機会はあるのでしょうか。	小規模多機能自治センター、その整備について、石部地区における小規模多機能自治センターは、新たに石部まちづくりセンターを新築することになりますので、かなり金額はかかります。他の3拠点については、既存の設備を利用します。どのような機能を盛り込むのかということに大きく左右される場所。DX化の部分については、建物にお金をかけずに通信設備にお金をかけ、サービスの拡充を図りたい。4拠点の整備についていくらというものは、ありません。(総務部長)
岩根小学校区	協同と創造するということであるが、議員さんもここに入ってもらいたい。	
菩提寺北小学校区	行政事務学区統括委員が出来た時に報酬を払うための細工(調整)があったが、報酬についてはなんかを削って何かを増やすという、姑息な手段はやめてもらいたい。	
菩提寺北小学校区	この事業をやっていくにあたって、行政が行ってきた移手段(バス等)をまち協に担わそうとしているが、実際にそういう事業を展開していく中で、事	事業体系によって、どこに責任の所在があるのかというのはしっかりしなきゃいけない。まち協の活動は、ボランティア保険が主となると思う。(総合政策部長)

	<p>故等があった場合にどのような責任の取り方になるのか。</p> <p>施設の統廃合をすることが、市の図書館と文化ホールを残していく手段としているが、これができないと、何もかもできないというふうに捉えてしまうが、そうでなければ反論してもらいたい。</p>	<p>石部文化総合センターの統廃合の方向性は、平成28年3月に公共施設等総合管理計画ができ、方向性が決まった。当然、地域や行政の力が落ちてくるということで自助、共助、公助という概念があったんですけど。その小規模多機能自治という概念はなかった。</p> <p>石部文化総合センターを潰したいから小規模多機能自治という概念を出してきたわけではない。(総務部長)</p>
--	--	--

## 8月2日（水）市長発言内容

石部町と甲西町で、合併したのは皆さんご存知のとおり来年で20年。良いか悪いかは別にして、その方向に進みました。合併した時の合併協定書というのがここにございます。合併せざるを得なかったというのが結論だと思っております。その時議員もやりましたので、私もよく知っております。こういう形で湖南市になりました。そして20年、来年で20年経とうとしておりますが、合併の時に決めたこういう形をとらざるを得ないということ。ある意味では苦渋の選択の中で、合併の時に予想できたことは予想しながらも、その時に予想できなかったこともありましたが、そうせざるを得なかったという選択をしたわけですね私ども、それから20年になります。さらに時代は変わりました。今生きてるものが、どう生き方をするか。どうまちをつくっていくかということと、予想される将来にわたって予想できることに対して対応していこうという今その時期だと思っております。20年間、頑張ってきましたけれどもできなかったこともたくさん残っております。

それに手をつけざるを得ない。言葉悪いですけども、その中の1つの選択肢として、これしかないというのが私の判断であります。先ほど話ありましたが、その中でこういうふうに行った方がええなということは皆さんのご意見は承りながら決めていこうと思っておりますが、今やらなきゃならんことは、やっていこうと思っております。今、いろいろ拙速にやったらあかんとおっしゃる方もおられました。何も知らんしとおっしゃいましたが、アンテナは張っていきなさい、アンテナを。

若い人が、区・自治会の活動に加わってくれてないというのはもうよく知っております。泣き言言いたいですけど立場ではありませんから。行政としては進めなきゃならんことを進めさせていただきます。遅れることなく、次の時代の準備をしたいと思っております。

今、言葉としては小規模多機能自治と言うてますが、行政と一緒に、皆さん方も進んでもらいたいし、いろんな建物を残したいと思っております。サービスも残したいけれども、基本的には残せるものは残そうというつもりですが、だんだんだんだん建物のことで言いますと古くなってきまして、お金がかかります。そしたら、ここは我慢してやっていかなきゃならないというところが多々出てきました。

2つあるものを1つにしなきゃならんという思いもあります。残せるものは残したいです。不安があります。しかしながら、進まなきゃならない時代になってきたということも事実でございます。私としては心を鬼にしながらやっております。

でも人口減っていく。いろいろ今までのサービスを維持できないっていう部分も多々出てきます。それでも進まなきゃならない時代になりました。しんどいですよ。皆さんに突っかってこういうこと言うべき立場じゃないのはわかってますし、皆さんのご意見を承っておきますで、納めるべきタウンミーティングだと思いますが、覚悟も願いたい。もう待たなしであります。知らなかったやんかとおっしゃる気持ちはわかりますし、それはそれでありますけれども。議員さんたちも頑張っておられますよ。

1つの方向を決めるにあたっては、皆さん方のご意見をいろんな場面によってお聞きしますが、議会というものを二元代表制でやってる限りは、議員というものを、議会というものを意見を賜りながらやっていかざるを得ません。これがルールであります。そう思ってやらしてもらうと。今日のご質問の中でご意見がたくさんございましたし、いろいろあります。皆さんに助けてもらわなかったらできないことはたくさんございます。ただしね、さらに皆さん方に負担をかけようというつもりはないですよ。できることできへんこと、言葉濁してる部分もありますけれども。できへんことはできへんです。

要するに、やっていただきたいことは、何も皆さんが消防服来て、ホース持ってくれて言うてるわけじゃありません。見守りというもの。高齢者に対する見守りと、子どもに対する見守りにお力添えを願いたいということ。災害が増えてきます。自然災害増えてきた時に、いろんな情報を皆さん方が地元におられる人たちが持っておられます。さあという時にはその情報を出して、みんなで助け合



わなきゃならんという事態になっていく。ここであります。いろいろ皆さんご意見、不安、いろんなサービスが落ちていくことに対する不安というものを持っておられるのはようわかっておりますけども。

それでも皆さん方のお力をお借りしなきゃできないことがたくさん出てきましたし、今までのサービスを維持するために、どうしようかということを考えてはいますけれども、それでもやっぱりサービスが落ちていく部分は、出てきます。できるだけ落とさないようにするというつもりしておりますし、さらに将来にわたっての違った面でのサービスの展開をしたいと思っております。決して悪い時代が来るわけじゃないと思っておりますよ。私は将来に対する展望を持っています。しかしながら、考えていただきたい。私も先ほど言いましたように、歳も歳でございますし、次の時代に対する不安はございます。

子どもたち、孫たちに、良い時代やな、悪くないなというふうに言われるようにしたいなという気持ち変わりませんよ皆さん。そのために歯食いしばって頑張っていくのに、お力添えをお願いしたいという思いだけであります。

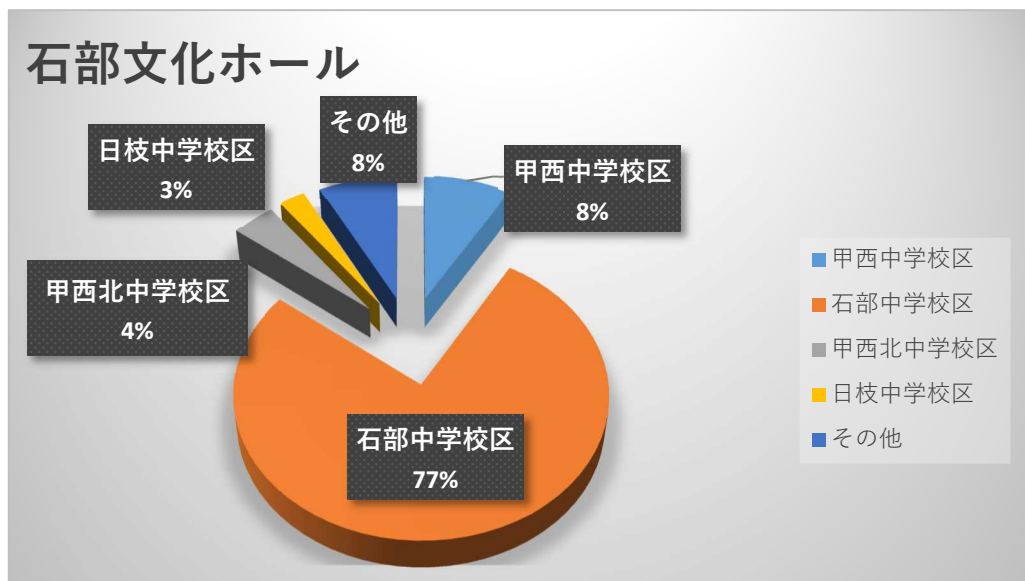
ちょっと無理して欲しいなという気持ちありますけど、ものすごく無理していただきたいとは思っていません。そんなできへんというふうに思っていますし、とにかく、高齢者と子どもに対する見守り、災害が起きた時に情報を的確な情報ですよ。適格な情報。1番新しい情報をお持ちなのは、側におられる人たちですので、その辺に対するご協力を引き続きお願いしたい。これだけでございます。

いろんなところで、皆さんのご意見を承ることはいたします。何卒ご協力のほどお願いしたいと思います。

## 6 石部文化ホール

### (1) 参加者の構成

甲西中学校区	石部中学校区	甲西北中学校区	日枝中学校区	その他	合計
10人	91人	5人	3人	9人	118人



### (2) 参加者の主な発言内容

発言者の住所 (小学校区)	発言内容	市の回答
三雲小学校区	健康意識が高く、じゅらくの里に走りに行っていた。少子化問題、地域の活性化を図る中、当該施設にはたくさんの方が遊びに来る。その中でトイレが月曜使えなくなった。定休日にもトイレは使えるようにしてほしい。子ども連れの家族も遊びに来ているので。	ご意見は参考にさせていただき検討させていただきます。 (環境経済部長)
石部南小学校区	先ほどの説明資料の15ページなんですけど、いろんな組織が書いてあるんですけど、この説明を聞きますと守山市の体系と良く似ている。守山市の場合は、地域包括支援センターのほか、市の職員が常駐されてるという組織になっている。今度の湖南市版では、市	小規模多機能自治センターの運営については、まずは市でしっかりとした運営をやっというと思っている。運営方法については、今後検討していく。 (総合政策部長) 地域包括支援センターの正規職員常駐については、現在は石部の地域

	<p>の職員さんが常駐されるのかどうかという点。それから、このセンターの管理運営、これは湖南市が行うのか、まちづくり協議会が行うのかという説明がなかったなので、その説明を。</p>	<p>包括だけが直営となっています。この石部地域での地域包括支援センターにつきましても、民間委託に切り換えていきたいと考えていますが、これに加えて市の中には、現在も基幹形の地域包括支援センターを設置しておるわけですが、基幹型で各地域包括支援センターをサポートする、そういう機能も市としては残していきたいと検討している。（健康福祉部長）</p> <p>※補足：守山市の地域包括支援センターは民間事業者に委託されている。</p>
<p><b>石部小学校区</b></p>	<p>誰が小規模多機能自治センターで頑張るのかってということがよく分からない。例えば消防やったら甲賀湖南消防本部があって、火事があったらそこが頑張る。また民間の消防団も十分に訓練されている。ところが今のこの小規模多機能自治は、自治という言葉から受ける個人的な印象では、お前ら勝手にせえ。市は知らんぞっていうのが基本に聞こえる。国が定めた言葉やから、市がどうしようもないのはわかるのですが、そのように聞こえるので、以前、何人包括支援センター（おそらく小規模多機能自治センターのことと思われる）に人を配置するんですかって聞いたら、要望に応じて考えていくとのことだったんですが、そこら辺が小規模多機能自治を言われて、おまえらに任せて知らんぞと言われているような気がする。</p>	<p>そうぶっくらぼうなこと言ってるわけではないです。それと先ほどから言葉としては、小規模多機能自治というのと、地域包括というのとまた別のサービスの展開ですので、その辺をきっちり分けて話をさせてもらいたいと思います。それと、お前らでやれて言ってるわけはありません。一緒に汗かいてもらいたいという話だけです。また説明をさせていただきます。（市長）</p> <p>小規模多機能自治センターは、まち協のサポートをするため、当初は地域の実情を理解した職員の配置を考えているが、将来的には民間活力を利用したものも検討している。（総合政策部長）</p> <p>地域包括支援センターは福祉サイドからのまちづくりということで、支えあい推進、サロンや高齢者の居場所づくりをしてきたところであり、今後も同じような形で地域にお願いしたい。包括支援センターは市長のいったとおり相談件数は増えて2.5倍となっており、今後もセンターの強化を図り、地域の支援に努めたい。（健康福祉部長）</p> <p>地域包括ケアシステムの仕組みは介護保険の考え方から展開しているが、</p>

		<p>介護だけではなく、権利擁護や虐待等の展開を期待されているが、これは無理である。4つの支所以外に本所がある。ここは行政でしっかりと行っている。今現在もサービスが悪い所は指示だしているが、今現在うまくいっているところは、おしなべてすぐに場所を移す必要はないと考えている。(市長)</p>
石部小学校区	<p>石部に住んでいる湖南省の住民の感情を逆なでしているスケジュール表が今日は資料としてついていない。合併して石部はよくなっているとは思えない。みなさんに聞くが石部がよくなったと思わないです。合併する前の方がよかったですと思いませんか。次にどんなものが建つかわからないのに潰すには納得がいかない。こんど新しく建てる際には、石部の特色を生かした施設になるよう石部の人にも十分に話をきいてもらいたい。東西庁舎、図書館の統廃合を早期に実現する理由を教えてください。10年、20年のスパンで物事を考えて、その後の人が考えたらいい。市議会議員にも聞きたい。なんでこんな中身のない構想案が市議会を通るのか。支援支援という言葉で言うてるが、市役所がメインでやっていくと言ったら我々はずついていく。</p>	<p>基本構想については、令和5年3月議会において承認いただいた。その時にこれを進めて行きたいというスケジュールを載せさせていただいた。ここには肝心なこととして、市の総合計画の第1章に市民主体のまちづくりとある。決して行政が丸投げするわけではなく、行政もいっしょになってやっていく。 (総合政策部次長)</p> <p>今これからどういう形で問題を解決していこうかとなった時に、両町が一つになって問題を解決していこうとなった。そこまで戻そうということはできない。湖南省になって今まで解決できなかったこともいっしょに解決していこうという意思のもと平成16年に合併したわけです。今までの以上のサービスは今後なかなか展開して行くことは難しいということが大前提で合併した。人口も減っていく中で、今までのサービスをできるだけ落とさないために2町でやっていこうと合併した。ひとつの考え方として、代替の場所として残していこうという意見はあるかもしれませんが、市役所は1箇所であると決めたわけです。西庁舎をどうするかということは、みなさんの決を得て決めてきた。(市長)</p>
石部小学校区	<p>石部地域に住んでいるので、甲西地域とは全然違う所で生活しているものです。今までは何かあったときに、西庁舎で行政手続きをしてきたが、税金の手続きで西庁舎でしようとしたら、「東</p>	<p>移動図書館車で対応を考えている。学校については、学校図書館で連携し対応ができる。予約していただいた本はセンターで受け取っていただけるようにしていきたい。(利用者の意見を聞</p>

	<p>庁舎に行ってくれ」ということであった。何でわざわざ遠い東庁舎まで行かなあかんのか。ましてや、あんたらの給料は私らの税金であると言ったら、西庁舎でもしてもらった。ここには東と西で差別がある。西庁舎なら歩いて行ける。東庁舎までは年寄りにしたらえらいことになる。東中心の考え方であるが、DXとか言うているが、どこまでできるのかが心配。図書館の統廃合も地域の住民の話聞いて進めて行くべきである。行政が主導権にぎってしっかりとやってもらいたい、隠れてばっばっやっている感じがしている。</p>	<p>いているのかという声) 図書館協議会にて協議をいただいているので、今後どのようにしていくか検討していく。(教育部長)</p> <p>施設、庁舎について、現在庁舎の基本計画を策定中である。以前のものについては、西庁舎周辺については、何もなかった。この周辺の施設をどうしていくか決めていく。それに先駆けてセンターの設置を行うものである。文化ホール、図書館については、平成28年にその方向性が決められた。令和3年策定の個別施設計画では、令和5年から令和9年にかけて統廃合の検討をすることとなった。パブリックコメントも実施しており、決して勝手にしているとか隠れてしているということはない。(総務部長)</p>
<p><b>石部小学校区</b></p>	<p>石部で生まれた。石部は人口が少なくいい町であった。合併後もそのままであったが、それはどうなのかとも思っていた。私の家の近隣は川が溢れそうになっている。一向にかわらない。バス停には屋根がないので、屋根を付けてもらいたい。</p> <p>西庁舎を潰すという話を聞いておどろいている。心配である。</p>	<p>大雨の話で、宮川も県で河川改修をしてもらった。JR草津線が狭小であることから、その辺もしっかりと対応していきたいと考えている。以前ですとお旅のところへんでは農地まで浸水していたが、それは解消された。(総合政策部長)</p> <p>屋根が付けられるところには設置を検討したい。(都市建設部次長)</p> <p>西庁舎の存続についてはご意見とし承る。(総務部長)</p>
<p><b>水戸小学校区</b></p>	<p>大変残念ことに3月議会で議員がどこまで熟知され、住民の意見を聞かれたのか。これは少し急ぎ過ぎた内容であったかと感じている。ただ4つのブロックは様々な違いがあるので、そこを丁寧にな配慮のもとやっていった方がよかった。市民に丸投げしている感が強い。どうしようとしたいのかが見えない。</p>	<p>どんな形にしる、今までのサービスがなくなっていくことは嫌だと思う。小規模多機能自治センターを作った場合、ここだけない。ここは間借りである。これを作らなきゃならんということが、最初であると思っている。今この時にみなさんがこういうもんがほしいという意見は聞いていきたい。耐震基準が満たされている建物を壊すのかと言われても、時代に合わない建物は使ってもらえない。ここが根本的な問題である。新し</p>

		<p>い耐震基準にあってからとって後20年30年もつからとってこのままでよいのでしょうか。(市長)</p> <p>【文化ホールの使用料が高すぎるから利用してもらえない。安くしろという声】</p> <p>何を安くするのですか。維持管理もしていかなければならないのに。何年か先の人に先送りするという気持ちはもっていません。総論的なところ各論的なところやってきた。今生きている者でどういう地域を子どもたちに残していくのか考えるとき。議員さんもやっている。肩持つわけではないが、あまりぼろくそに言わない方がよい。スケジュールのことを指摘されるが、スケジュールありきではないが、スケジュールも大事である。(市長)</p>
<p><b>石部南小学校区</b></p>	<p>施設をなくしていくとい話であったが、この町に住んで50年。住民の要望で図書館ができた。いろいろと住民の要望で施策が実現された。ところが、今回の提案は多くの物がこの街からなくなっていくというもので、その対策が何も無いというものである。合併しても地方交付税が減らされていくことはわかってきたこと。ここは耐用年数もある。西庁舎は耐震の問題もあるが、潰したらいいというものではない。甲賀市は全部残っている。もう少し時間をかけて工夫してもらいたい。甲西、石部の人々が交わって暮らせる町づくりを目指してもらいたい。この町に住んでありがたいという町をつくってもらいたい。</p>	<p>図書館を集約するという。それぞれのセンターには移動図書館車を巡らせる。例えば図書館の本をセンターにおけないかという意見も聞いている。お茶をのみながら、本を見られるような場所づくりにも使っていただければ。図書館と図書機能は違う。図書館は2から1にする。図書機能について、貸出方法、開館時間等も検討している。(教育部長)</p> <p>現在、西庁舎では市民課の一部と教育委員会の手続きができる。東庁舎が増改築時には、窓口サービスのDX化を進めるが、自治センターでも行政手続きの支援を行っていく。オンラインを使った各種手続きについて昨年より、国保、転入、転居、転出の手続きが窓口に行かなくてもできる。転出については、今年度の3か月間で700件中、60件あまりが約1割をDX化で対応した。東庁舎に行くのではなく、近くで手続きをしてもらえるようにしていきたいと考えている。パソコンやス</p>

		マホが使えない、マイナンバーカードを持っていない方の利用を想定している。(総務部長)
石部小学校区	本日のTMが最終であるが、引き続き市民が意見を聞いてもらえる場がほしい。介護申請についても、センターでできればうれしい。できませんか。	この後議会でも検討してもらおう場があり、TMの結果も踏まえ議論を進めて行きたい。地域の小規模多機能自治センターについては意見を聞きながら進めて行きたい。(総合政策部長)
石部小学校区	1万～1.5万人が理想としているのは何か。7つのブロックを4つに集約するのか疑問。せっかく7つの独自の活動ができてきたのに。 文化ホールを潰すのは賛成。図書館は別である。図書館は実際に利用者がいるので、反対。移動図書館ではその役割を果たせない。本を読みたい時に、その場にいけることが大切。合併後20年たって、もう一度この町をどのような町にしていきたいかということをもう一度考えてからでもよいのでは。これが一番近道であると感じている。	7つのまち協が一番近い考え方ではあると思うが、石部だけで見ていると石部と南では、医療や介護、量販店等使える社会資源にも偏りがある。旧村の状況が残っている状況で新しい町が端においやられている。今ある状況を最大限活かした場合は、中学校区でわけることが一番適している。更に細かくサービスを展開していくことは難しいだろうということ。東庁舎の位置づけは、柑子袋1.9Km、岩根3.1Km、石部3.2Km、下田は7.5Kmの距離。石部の人と言われる気持ちはわかりますが、現実としてはこういうことです。文化ホールは、市直轄にした。これはハードではなくソフトである。この文化ホールについては、図書館を組織替えて湖南省図書館に統合することよりは文化ホールは止む得ないのかな。認めてもらえているとは思わないが、どこかでこれについてはお認めいただきたい。次の時代の準備を進めていきたい。時代が変わって見えないことはたくさんある。みなさんにとってどういものがよいのかということのを伺いながら進めて行く。スケジュールありきではないが、意見も何うが、こういう時代でありますので、子どもたちに何を残していくかということを考えていく。(市長)

<p><b>三雲小学校区</b></p>	<p>特別委員会を傍聴した。その時中身はなかった。議員からももう少し詳しく説明してもらいたいという発言があったのに、具体的な唯一な話が施設の統廃合だけ。本の話については、県や甲賀市、学校、リサイクル本にするということだったが、本の行き先についてどうなっているのか。</p>	<p>基本的には県立図書館に、甲西図書館にないものは、湖南市立図書館の蔵書として残す。児童書については、学校で活用できるものは学校でと考えている。</p> <p>石部図書館の開架室に7万1千。書庫に3万冊収納されている。(教育部長)</p>
<p><b>石部小学校区</b></p>	<p>これからの時代に必要だとは思ふ。しかしこの進め方やついでスケジュールについて意見がある。健康推進委員をやっていて事業をしようとしても石部交流センターの予約できなかった。ルールを破ってまでできないと言われた。潰してからの空白の3年間、どの施設も利用することもできないので、どこかの施設を利用してもらえるようにしてもらいたい。</p>	<p>詳細確認し検討する。(健康福祉部長)</p>
<p><b>石部小学校区</b></p>	<p>地域の自治会の役割が大きくなるが、自治会が機能しなくなることを危惧している。市としてどのように考えているのか。</p>	<p>地域自治会の加入率が悪いのは承知している。地域内の事業所においてもまちづくりの主要メンバーであると考えているの、そこも含めて考えていく。一地域のまち協で解決できないことを中学校区で解決していくという構想である。(総合政策部長)</p>
<p><b>石部小学校区</b></p>	<p>石部の文化ホールについて、市の文化祭の会場はここである。統廃合されると聞いた。平成23年までは、交互でやってきた。ここですようになったのは、展示スペースが甲西にはない。ここには十分あったので、以後ここで行われてきた。統合するにあたっては、その面は解消されいくのか。</p>	<p>展示については、石部でということで。ここが会場となっていた。今後甲西で行われるに当たっては、図書館等も会場として検討していく必要がある。</p> <p>(総合政策部管理監)</p> <p>【平成23年当初は、こんなに少なくなかった。図書館との併用は、施設が離れているので使いづらいの意見】</p> <p>開催時期、場所の検討していく。</p>
<p><b>石部南小学校区</b></p>	<p>デジタル化について、私は理解できるようになってきた。便利さも少しずつ理解してきたが、みなさんにどこまで理解してもえるか。有料化されたら、利用されないと感じる。使いやすい、わかりや</p>	<p>Wi-Fiの環境、テレビ会議室等の導入等は検討していきたい。スマホなどの説明会も行っているので積極的に利用してもらいたい。(総務部長)</p>



	<p>すいものであれば、非常に便利なものになるとうが、逆だと無用の長物になってしまう。導入の際に十分に検討してもらいたい。</p>	
<p><b>石部小学校区</b></p>	<p>テレビでも熱中症の避難場所を図書館に指定しているので、必要だと思う。ゴミの問題について、年間36,000円支払われている。自治会を脱会したとたんこんなことになった。湖南市に10年住むのに360,000円支払われる。みんな平等に税金を支払っているのに、平等にゴミが捨てられたいのと思う。</p>	<p>大津市においては、あらゆる公共施設で熱中症を防ぐための手立てを考えられている。しかしながら小規模多機能自治の考え方においては、公共施設だけではなく、この考え方に賛同いただけるのであれば民間事業者の施設においてもお願いしたい。なお図書館は防災の指定避難所ではないので、指定避難場所へお願いします。</p> <p>(教育部長)</p> <p>ゴミについては、地域代表者会議で研究している。どのようにしていったらいいのか県内の状況も調べているが、県内もどこも同じような悩みを抱えている。ゴミステーションの利用にあたっては、各地域で自治会加入者未加入者双方が負担にならないような仕組みを考えていきたいと考えている。</p> <p>(環境経済部)</p>
<p><b>石部小学校区</b></p>	<p>この構想は、まだ決まっていないことばかりであった。協議し本当に必要なものをみんなで作っていくということであった。先ほどからの話ではそのような雰囲気ではなく、決まったことについて話をされているのだと感じた。コミュニティは小さい方がよいとは考える。魅力のまちづくりをして、少子化をおさえていくということからは、離れている感じがする。滋賀県は図書館の貸し出し率は高い。果たして何がしたいのかわからない。周知しているということだが、パブコメ等周知が足りない。周知の方法も考え直さないといけない。文化ホールについては、前から統合する話があったが、ここには、反響版もなく映写機もない。建てた時の問題ではあるが。</p>	

	<p>なんで利用が少ないかという原因の追究はできているのか。500人入るホールで実施できるイベントの開催は難しいとのことであった。</p> <p>建て替えが本当に必要なのか。本当にいるのかどうかというのは、住民と対話の中で進めてもらいた。このスケジュール感は不信感でしかない。順番がおかしい。</p> <p>どう考えても急ぐのは東庁舎、そこにお金がかかる。我々は何を判断基準にしたほうがよいのか。魅力のないぎすぎすした町になる。本当にこのままでいいのかという。もう一度考え直していただきたい。潰すのであれば納得する形でお願したい。</p>	
<p><b>石部南小学校区</b></p>	<p>議員である。特別委員会にも属している。基本構想には同意したが、17日の委員会で審議する。基本計画、実施計画はまだ何もなく賛成していない。これからである。</p> <p>前に座っている職員は、こういう計画があるとか、費用面とか見える形で示さないといけない。こういう話になって当然である。あなた方の中でなんら計画がないということなのか。石部に住む人は納得しない。</p>	
<p><b>石部小学校区</b></p>	<p>納得したいことはあるが、私たちには情報が少ない。市民と行政が二人三脚で取り組むことはできない。資金面の話が数字で出てきていない。ぜひ明らかにしてもらい、市民が判断する材料のひとつとして情報をもらいたい。</p>	
<p><b>石部南小学校区</b></p>	<p>現状の課題について、改善が必要なことに関しては、よくなるという方向できちんと進めてもらえれば改善が可能であるのかなと思います。区、まち協について、特にまち協については、行政の評価と一般の市民の評価との間で相当な開きがあると感じている。今回の</p>	<p>文化財保護の所管が教育部から環境経済部へ移管された。文化財保護だけでなくPRや情報発信を行い観光面での文化財の活用が目的であった。昨年は、3回。今年は、1回開催させていただいている。建築、美術、埋蔵文化財等の専門の人が審</p>

	<p>自治の中核を担っているのは、7つのまち協ではないでしょうか。自治会が支えて、まち協が成り立つ。自治会で担い手不足から解決策が見当たらないというのが結論。行政が仕組みを構築しているが、支え合い推進員については社協に1層を丸投げしている。市長が災害時のことを想定して、見守ってくださいと要請されているが、行政はまち協を設立した時に、行政サービスの低下をみんなで補う、ともに汗をかき、車の両輪のようにがんばろうということであったが、予算を渡したから、勝手にしてくれという感じを受ける。その辺を改善してもらい、ともに汗をかいてもらえるような仕組みにしたい。湖南省には文化財があります。湖南三山等もPRされているが、各市には文化財審議委員会がある。市では委員会が市民の代表として参画されていると思うのですが、文化財保護審議委員会のメンバーは専門メンバーが着任されてるわけですから、ほとんどの方が他市と兼任されている。市の文化財審議委員会をどのようなペースで開催されているのでしょうか。教育長この存在はご存知でしょうか。湖南省の審議委員会がここ数十年開かれていないという話があったが、文化財に力を入れている市、入れていない市というのは、市の活力が違うと思う。</p>	<p>議委員にあたっている。他市の取組み等も紹介してもらいながら進めている。 (環境経済部長)</p>
<p><b>下田小学校区</b></p>	<p>来年20周年を迎えるということであるが、市長は合併協定書に縛られることは何もないという考えを述べられているが、協定書に沿って新市建設計画がある。これに目をおしているのか。あまりにも差がある。この点で、小規模多機能自治構想を出すときにこれも併せて議論がなされたのか。公共施設の個別管理計画に則ってやると強調されているのか、その計画は誰が責</p>	<p>合併を決めたが、それをもとにもどすこともみなさん考えておられないと思う。あの時決められたことについてもあるが、決められなかったこともたくさんあったと思う。それは次の時代にどうなるかわからないから、その時その時生きているものを縛ることが無いようにこういう表現になった。人と人のつながりが見直されていくなか、今を生きるものが次の時代の準備をしようというものです。</p>

	<p>任をもって策定されたのか。行政レベルでされたのではないですか。そういった点でも我々市民に説明をしなければならぬ。</p> <p>合併してよかったかという問いに対して、前がよかったという意見に拍手が起こった。合併するんじゃなかったということ。岩根診療所休診、石部診療所の休床、保育園の民営化、小児科の移転、市民グラウンドの取扱い等合併してよかったという声にはならない。図書館は相互利用が出来ることで喜ばれていたが、それもなくなる。</p> <p>地方自治の3原則の基本にたつて物事を進めることが大切だと感じている。この20年を総括するべきである。</p> <p>住民自治の立場からも十分に考えてもらいたい。</p>	<p>各施設の総合管理計画については、迷いながら手段を尽くしてやってきた。合併後もずっと課題を訴えてきたのも事実である。ここで問答無用と切ることではない。準備をしたい。甲賀市の5ブロックに残っているのが理想ですか。甲賀市のやり方が全て正しいとは感じておりません。甲賀市も迷いながら進めている。なにとぞご理解いただきたい。(市長)</p>
<p><b>石部小学校区</b></p>	<p>学童は昔保育園の横にあった。十禅寺公園に移り、保健センターに間借りしていたが、センターの耐震の問題で石部小学校と保育園の横でやっている。ばらばらのところでやってきているが、近くでいっしょの環境で保育がしたいと訴えていた。小規模多機能自治が進めば地域に任されていくのでしょうか。検討される場合は、現場の声が届けられるようにしてもらいたい。市は子育て支援に充実をがんばってきてもらっているが、いろんな人が参加しやすい環境でTMを展開してもらいたい。</p>	<p>子どもがなるべく遠くにいかなくても学童にいけるように検討する時には意見をきかせていただきたい。</p> <p>(こども未来応援部長)</p>
		<ol style="list-style-type: none"> <li>1 拙速にしないで</li> <li>2 潰さないで</li> <li>3 廃止しないで</li> <li>4 解体後の青写真(具体性)がない</li> <li>5 耐震基準を満たされている施設をなんで解体するのか</li> <li>6 まち協に何をしろというのか</li> </ol>

		<p>7 なんで石部からなのか          本日は想定通りの質問でありましたが、次の時代の準備をしたいという考えに対して、具体性がないというのは非常につらかった。どこから始めるかという手順について、その都度先輩方が説明をおこなってきた。足りないと言われればそのとおりである。手探りでもやらなければならないという時があり、がんばって説明に努めていきたい。          (市長)</p>

## 8月6日（日）市長発言内容

もう1つ聞いてくださいね。4つのブロックに分けて、地域包括支援センターを地域に展開した。それが今現在相談事とかしておられるのが、今まで行政だけでやってた時と比べ2.5倍になってるんやから、これはこれでOKだと思ってる。

この地域包括支援センターという仕組みが、介護保険のところから考えてるんですね国は。しかしながら、介護保険の範囲だけではないわけですね。権利擁護とか、虐待の問題もあるし、生活保護等の問題がある人、いろいろあるわけですけど、国はこれを介護保険の仕組みの地域包括支援センターでやりゃいいけど無理なことあるわけです。無理なんです。

これは国に対して言うてるんですが、それをカバーする意味で、実は4つのブロック以外に本部があるわけ。本部がこの4つをきっちと今現在、行政としては、しっかりと見とるわけです。そこには社会福祉士もいるいろいろな資格を持った人たちが相談ごとに応じると。この元締めは、行政がしっかりやらせてもらっていて、その支配下の中に4ブロックのそれぞれの枝分かれしたところがあるという形をやってるわけです。今現在でもサービスが悪いと思ったところについてはどんどん指示は出してますし、ここに支部を置いておくことがあかんというところは、言い方悪いですが早いとこ移さなきゃならんけど。今現在上手くいって、相談ごとに、ここはうまくいってるっていうところは、押しなべて、来年の4月から移さなきゃならんかと言ったらそうでもない。1番利用者さんにとって利用しやすいところに拠点を置くという形で私は今しばらくかまへんと思ってます。これが私の考えであります。

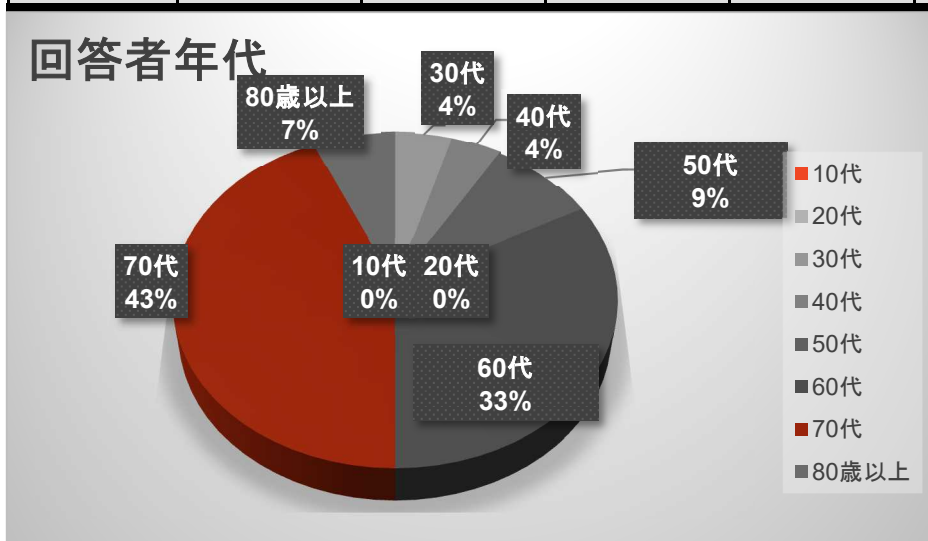
## 7 参加者アンケート

### (1) アンケートの実施

各会場においてアンケートを依頼し回収を行いました。またアンケートには後日QRコードを読み取りウェブにおいても回答していただける手段を取り入れるとともに、ホームページにおいて動画での説明をご覧になられた方からもご意見をいただけるようにアンケートを実施しました。

### (2) アンケート概要

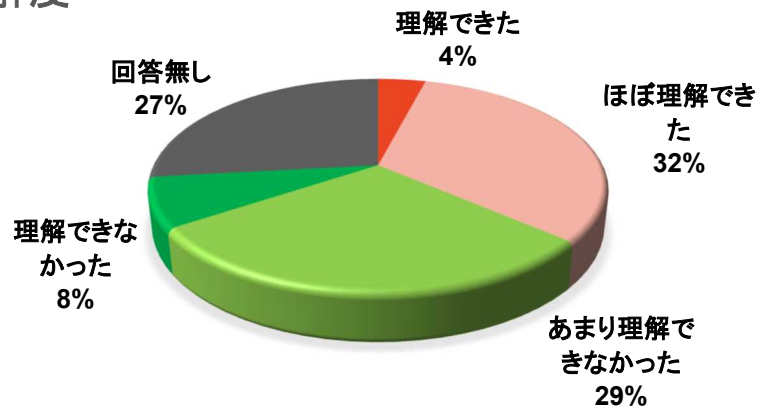
回答者年代	三雲	水戸	菩提寺	石部	合計
～20歳代	0人	0人	0人	0人	0人
30歳代	2人	2人	1人	4人	9人
40歳代	1人	0人	2人	5人	8人
50歳代	5人	2人	3人	7人	17人
60歳代	17人	10人	13人	27人	67人
70歳代	19人	13人	16人	39人	87人
80歳代	0人	4人	1人	8人	13人
合計	44人	31人	36人	90人	201人



「小規模多機能自治」の内容について

	三雲	水戸	菩提寺	石部	合計
理解できた	0人	3人	2人	3人	8人
ほぼ理解できた	16人	11人	13人	24人	64人
あまり理解できなかった	15人	6人	12人	26人	59人
理解できなかった	5人	4人	2人	5人	16人
回答無し	8人	7人	7人	32人	54人
合計	44人	31人	36人	90人	201人

理解度



理解できた、ほぼ理解できたという人と、あまり理解できなかった、理解できなかったという人はほとんど同数でした。回答をされていない方も53人おられますが、ご意見等にはしっかりと答えておられています。「理解はできるが納得はできない。」という感想もあり、このタウンミーティングで全てを理解し、受け入れるということができない方もたくさんおられたのではないかと推測されます。

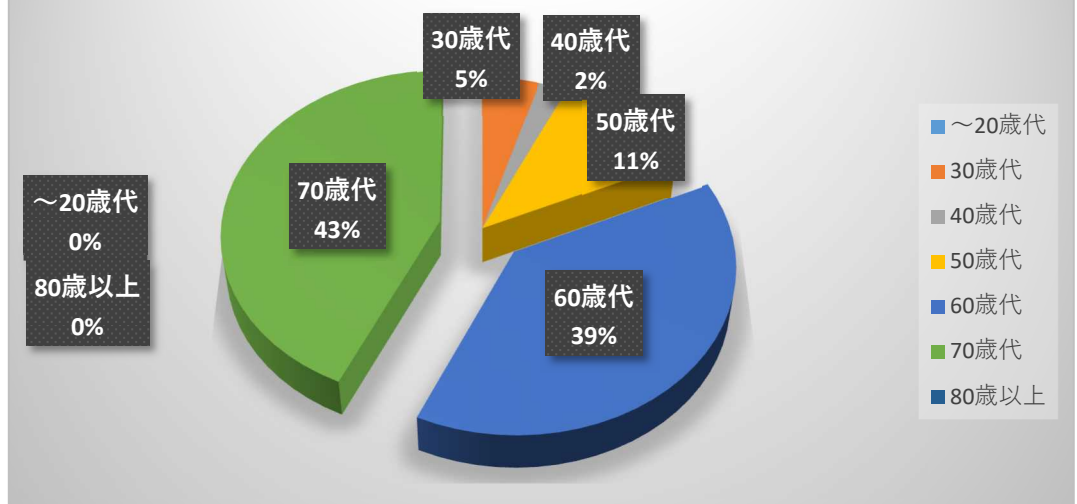
### (3) 三雲コミュニティセンター参加者からのアンケート結果

※相応しくない表現が含まれている場合がありますが、原文のまま転記しています。

#### アンケート回答者年齢構成

～20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代～	合計
0人	2人	1人	5人	17人	19人	0人	44人

#### 会場：三雲コミュニティセンター



#### ～今後のまちづくりについて～

- ・各まちづくりセンターとその地域のまち協の協力などの分担は？
- ・多機能自治での取り組む内容を今後決めていくとのことだが、要望に応じてスタッフ配置の軽重があつてよいと思う。
- ・自治会に加入する方が少なくなっているのに、共助をどうやって作っていくのか
- ・高齢化につき交通の在り方、車がないと病院にもいけない、地域バス¥250=年金生活者の負担がある
- ・区長会、まちづくり協議会等の役割が本来どのようなものなのかがわからないので、4か所の多機能自治の在り方も考えにくい。
- ・まちづくりセンターは今の所そんなに機能しているように思えません。今後すごく不安になりました。1号線の車線の件ですが、甲賀市に入った途端車線が増えています。湖南市内も用地はあるのに、どうして広げられないのかももう少し国に働き掛けてほしいと思います。インフラ整備は発展のためにとっても必要です。



- ・現在公共施設・公園などをイベントごとに使いやすくして、キッチンカーの場所代から設備維持費を生み出せるようにするのはどうでしょうか。
- ・自治会員が減っていく一方で地域のまちづくりが機能するか不安です。市政に関心のない人が多いのではないかと思います。

### ～小規模多機能自治センターに備えたい機能～

- ・図書館機能
- ・市庁舎に行かなくて済む、やさしい申請や証明書発行機能
- ・高齢・こども・育児などの相談機能
- ・図書の貸出・返却機能とともに、図書の閲覧ができるところで行き場のない大人が「癒やし」を受けられるようにして頂きたい。
- ・健康づくり、痴ほう防止に役立つ施設、今後痴ほうにならない、立って歩けるを支援することが大切
- ・石部図書館は残すべき。各センターで予約し受け取ることができる人は少数だと思う。実際に本を見て読みたいと思うことがある訳で、図書館をなくすことは反対です。子供たちにとっても図書館は必要。教育の質が下がることが心配です。
- ・DX等の取組で少しでもまかなえるという考え方を感じましたが、はたしてそうでしょうか
- ・センター長は行政職員が担当して責任を担ってほしい。委託にはしないほしい。行政の財源不足を市民の協力でカバーしたいとの意図が見えるが、責任逃れはしないでほしい。
- ・地域の差がでないよう考えることを希望する。
- ・ゆるカフェ＝いろんな困りごと相談なんかでもできる場所。甲賀市役所で取り組まれている開庁2時間前みたいなもの
- ・石部まちづくりセンターの新設について、図書館の機能を市民からたくさんの声を聞いてほしい。何度も機会を作って声を集めてください。

### ～その他の意見～

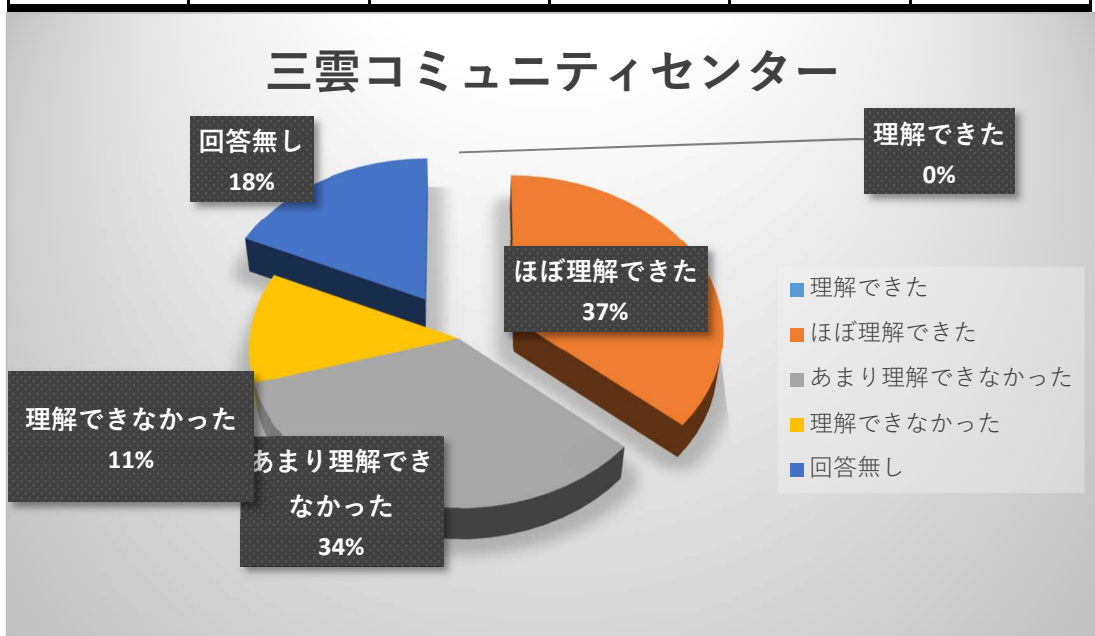
- ・具体的に何が問題か難しかった。「行政が先にやる」という言葉は信じられない。

- ・今回の構想は、これからの時代の的を射るので、これからの「制度設計」が重要かと思っておりますので期待しています。
  - ・よく批判される「行政から市民への押し付け感」をどう上手く説得するかを進め方に注力して頂きたい。
  - ・小規模多機能自治センターのネーミングに工夫をしてもらいたい。
  - ・自治会が壊れそうになっているのに、もっと足元を見てください。現状は自治会に入会しなくても生きていける人が多い。ごみ問題、外国人入住、自治会が壊れそうになっている。
  - ・マイナンバーもそうですが、日本はまだアナログ人間が多い。これは今までの政治が悪い。なので具体化は必要（説明）。いきなりの話では全く分からない。説明（司会）された方も淡々と進めている感じで、パンフレットも見にくくて、具体化もなく頭に入ってこないタウンミーティングでした。残念です。
  - ・石部文化ホールの話は、原因は回答されているのに参加者に理解されていないのは人の感情だと思いますので、プレゼン資料の作成で考慮してください。
  - ・まちづくりセンターと自治会の交流は住民としては殆ど知りません。自治会長と市役所（まちづくりセンター？）の話し合い役割がプレゼン資料にあると一住民として有難いです。
  - ・区・自治会・まちづくり協議会の役割がよくわかりません。そういう資料も含めてほしいです。
  - ・石部総合センターをつぶさないでほしい。
  - ・2つあるからと図書館をなくすことはどうしても反対です。どんな理由をつけようと、道路の問題などとは別の工夫で可能です。良い図書館を作るという案なら賛成ですが、文化基準を低くすることには反対です。利用者を増やす努力は必要かと思っております。
  - ・オンライン、DXがどんどん進んでいくが、既に高齢者などは取り残されている状態。サポートする職員がつくのはわかりますが、「誰1人取り残されない」ようにサポートするのは中々困難だと思います。一方でデジタル化は不可欠ですので、よろしくご検討下さい。
- 職員の方々は十分汗をかいて努力して頂いていると思っています。申し訳ありませんが、これからもよろしくお願い致します。頑張ってください。
- ・地域福祉の全体構想（予算配分も含め）と、施設統合の構想をリンクさせて計画を立案してほしい。小規模多機能センターに求める機能は、もう少し時間をかけて意見集約してはどうか。
  - ・地域での活動など協力してやっていかなければならないと思いますが、まず自治会に入らない家庭が増えてきていて、自治会自体の運営も難しくなっています。小規模多機能自治を進めていくには、学校などでも今日のような説明会をしたり、お知らせ的なことをしたり、自治会に協力してもらえように伝えてもらうのも大事だと思います。

・自治会加入者が少ないという難しいことも含め、小規模多機能自治という構想の中で考えなくてはいけないと思う。

**理解度**

理解できた	ほぼ理解できた	あまり理解できなかった	理解できなかった	その他	合計
0人	16人	15人	5人	8人	44人

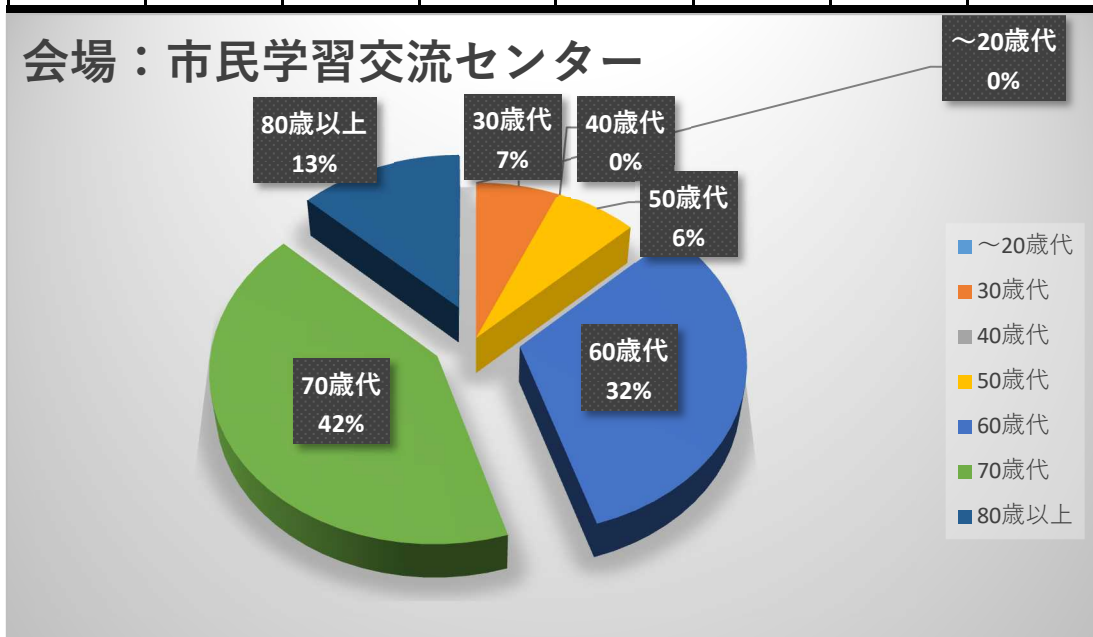


### (4) 市民学習交流センター参加者からのアンケート結果

※相応しくない表現が含まれている場合がありますが、原文のまま転記しています。

#### アンケート回答者年齢構成

～20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代～	合計
0人	2人	0人	2	10人	13人	4人	31人



#### ～今後のまちづくりについて～

- ・皆の協力が必要と思う。これからの青年をしっかり育てていきたい。
- ・理想と現実のギャップを感じています。地域まちづくり協議会に参加して活動していますが、同世代は少なく、子育て世代の意見を汲んでもらいにくい現状があります。地域差も感じています。やりたい人がやれる！ やりやすい！ そんな地域づくりモデルがほしいです。やりたくても身動きがとりにくい子育て世代が、より活動しやすい（活動に参加しやすい）形を市として提示して頂けると有難いです。もしくはコミュニケーションを取る余裕がないので、間に入ってもらえたら…。
- ・説明は理解できたが、はたして実行するとなると？ まだまだ行政と市民との話し合いが大切。細かな調整が必要。課題解決のために丸投げしないで！ 予算の発生には柔軟に対応を。
- ・現在まちづくり協議会の活動をしている人は高齢者が主です。構想は理想的ですが、担い手の育成が急務です。共助が当たり前の時代から変わり、地域のつながりはとても薄くなっています。日ごろから近隣住民のつながりを深めていく取り組みが必要かと思います。

- ・人材の確保・若手の編入
- ・小規模多機能自治は良い計画であるが、その前に住民がまだまだ地域まちづくり協議会の理解が必要である。
- ・自助公助を求めようとすると、「夢」「よくなっているという実感」が必要と思う。形を作るのも必要だが、この辺りも工夫してください。
- ・少子高齢化が進み行政だけではまちづくりは出来ないと思いますので、今回の小規模多機能自治の案は良いと思います。

### ～小規模多機能自治センターに備えたい機能～

- ・全てにwi-fiはつけてください
- ・図書館を便利に使えるようにしてほしい。Webで予約できるようにしてほしい。現状は貸し出し中のものしか予約できない。家の近くで本を受け取るようにしてほしい。まつぞう君は月1回平日なので使いにくい。
- ・高齢者の相談窓口である地域包括センターが十分機能を果たせるよう、職員の教育を十分したうえで派遣してほしいものです。
- ・このセンター（4センター）は行政が入ってくるのか？ 違うまち協を同じ方向に向けていくのは困難で、解決方法は？ 説明は表面的であり、もう少し具体的にしてほしい
- ・市役所でしているサービスの90%をそこでできるように。
- ・自治センターで地域ネットワークを作るにはしっかりしたコーディネーターが必要。これをどうするか考えてほしい。
- ・図書館機能を備えてほしい。（下田緑が丘区から甲西図書館は遠い）
- ・下田地域からサンヒルズ甲西への交通手段を検討してほしい。
- ・最新のデジタル化は必要かどうか。簡単なデジタル化で良いのではないか。
- ・日常生活上での問題相談に対応できる人材を配置願いたい。
- ・まちづくりの在り方、一人ひとりが参画しないと損をする、参画すれば得をする方向に進めるのもありかな。
- ・地域福祉・地域防災の拠点づくり、具体化の展開を固めよう。

### ～その他の意見～（市民学習交流センター）

・まちづくり協議会の高齢化が問題。若い人の考え・意見が通らない。若い人がまち協に参加できる仕組みが必要だと思います。

・子連れで参加しました（うちだけです）。もっと子育て世代や、これからの世代（若者）が参加しやすい形を考えてほしいです。

・統廃合は良いが、まち協4センターは反対（違う育ちが同じにすることは無理）。また、現況で何が問題であるのか？タウンミーティング内でまとめるのはできないので、強力に進めて、まずい場合には順次変更すればよいのでは？

・事前に勉強して参加すべきだと思いましたが、今日初めて話を聞いて意見を求められてもなかなか意見は出ないのでは…。回数を重ねる必要があると思いました。できれば（終了）時間を決めてほしい。エンドレスっていうのは困ります。

・今湖南省のお店が閉店がつづき、1号線が寂しくなっている。活性化できる町にしてみたい。

・自治センターはワンストップ、地域ネットワークの確立が見込めると思いますので期待しています。

・まち協の改革をぜひお願いします。

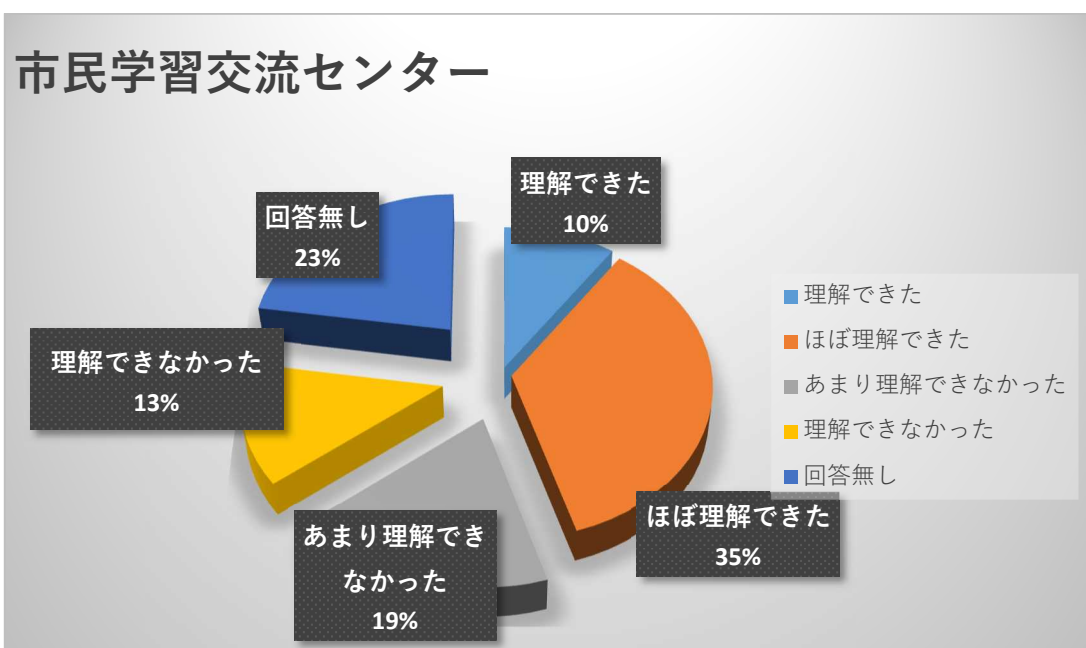
・DX化について、具体的にになったら解りやすい説明会・指導会を企画してほしい。高齢で新しいものには抵抗がある。

・機能づくりは出来た、後は市民の考え方、行動次第というのは市民に責任転嫁している。

本日のタウンミーティングを第1回として、回を重ねてほしい

理解度

理解できた	ほぼ理解 できた	あまり理解で きなかった	理解 できなかった	その他	合計
3人	11人	6人	4人	7人	31人

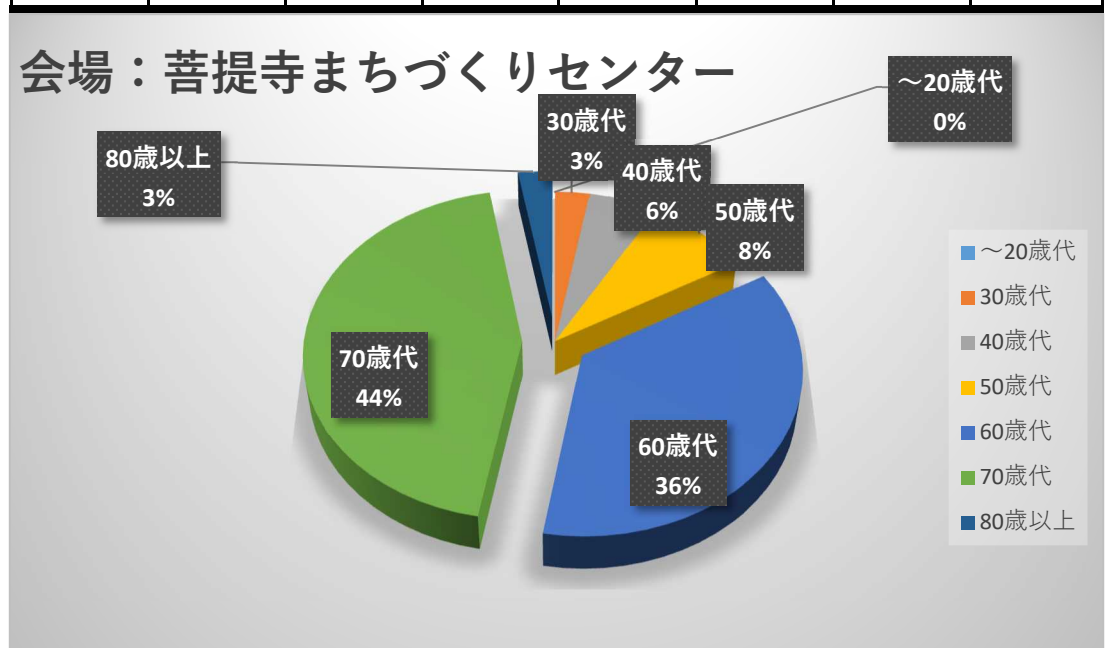


### (5) 菩提寺まちづくりセンター参加者からのアンケート結果

※相応しくない表現が含まれている場合がありますが、原文のまま転記しています。

#### アンケート回答者年齢構成

～20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代～	合計
0人	1人	2人	3人	13人	16人	11人	36人



#### ～今後のまちづくりについて～

- ・車に頼らなくても良い町に。コミュニティバスの高齢者への配慮した施策はありがたいが、出かけて帰りに利用できる夕方の便がもっとほしい。
- ・担い手の開拓に市も協力してほしい。
- ・アンケート形式でも若い人に聞いてほしい。次世代の考えは大事。
- ・担い手不足の原因について。自治会の加入者の減少に対して何か対策はされていますか？
- ・運転免許返納後の交通手段の整備
- ・認知症を相談・診断できる医療の確保
- ・未来を見据えたまちづくりの在り方について、多方面からの意見（例えば各団体、サークル代表など）の意見交換会があっても良いのでは？
- ・まち協以外の地域活動をサポートする仕組み。現状まち協にしかそういった予算がない。



- ・小規模多機能自治というのは、要は合理化推進。市庁舎の統廃合、合理化が遅い、もっと早くやるべき。
- ・みんなで誰一人取り残さない地域社会をといわれるシステムは素晴らしく思いましたが、聴覚障がいという立場から、50年ほど昔のことを思うと理解してくださる方が増えてきましたが、まだまだの現実です。
- ・聞こえは良いが住民に負担がかかるのでは？ デジタル化→高齢者は頭から拒否するのでは？ 民生委員、区長の仕事が増えるのでは？ 行政がもっと動くべき。
- ・民主主義の中での社会の進め方、進み方にもっとも大事なのは話し合いだと思います。その点で小規模多機能自治が目指すものは理想です。そんな世の中、市ができればいいと思います。
- ・地域の担い手を確保することが非常に困難であるし、いたとしても特定の方だけに負担を強いることが想像できる。
- ・西庁舎を廃止して東庁舎に集約するのは良いが、それなら東庁舎を立て替えて甲賀市より立派なものがほしい。
- ・今回初めてタウンミーティングに参加したが全然納得できない。根拠が少ない。財源の在り方が示されていない。今後の方向性的に明るくがんばろうという気持ちにはなれなかった。
- ・市民への周知が十分でない中、9月に提案されるのは拙速であり、市民の声を聞いて方向を決めていくとの答えと相まっていないことは納得できない。
- ・少子高齢化や収入減、物価高で生活が苦しくなる。暮らしやすい湖南市をめざし取り組んでほしい。安心安全な湖南市のために、私自身も協力できることは参加・協力していきたいと思う。

### ～小規模多機能自治センターに備えたい機能～

- ・誰もが納得できる人材の起用、相談しやすい窓口
- ・本を置いての図書館機能を残してほしい
- ・防災だけでなく、避難等の対応システム（食料・衣服・情報保障等）
- ・情報が集まる場所（ウェブや掲示板など）
- ・小口の助成金、市民活動推進センター
- ・自治会との連携はどうか、調整会議などは必要
- ・公的書類の発行

- ・窓口担当は誰になる？ 地域のある方にしてほしい。現在のまちセン窓口さえ、気持ちよく誰でも気軽に来れない感じなのに、不安でしかない。
- ・市の職員が住民と膝をまじえて、地域の特色や課題を知る機会を最初は丁寧に持つてほしい。地域住民は万能ではありません。行政が予算をきっちり取って、財政面からバックアップする姿勢が欲しい。行政は委託するばかりで伴走してくれないように思います。
- ・図書館は貸出・返却機能のみでなく、子育て・高齢者などの憩いの場になるような機能を併設してほしい。
- ・4か所に充実した図書館機能やサービスを置いてほしい。
- ・市の職員が4か所の自治センターに出向すること。

### ～その他の意見～

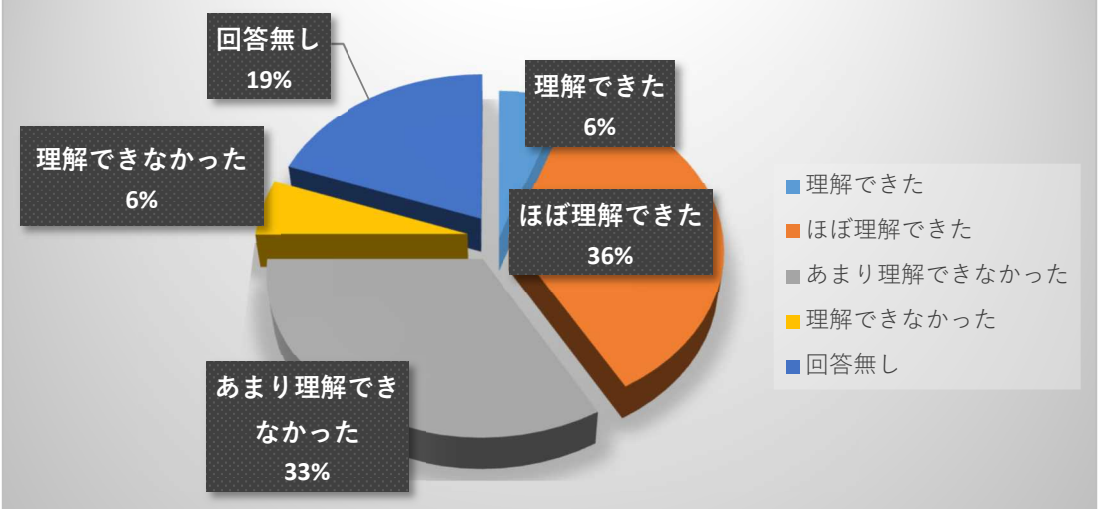
- ・合併して20年、早いものです。行政とともに夢を見ていきたい。市長の力強い最後の言葉（本音）を深く心にとどめたいと思います。
- ・市長の熱弁は良かったが、我々60代以上の人々に訴えてもどうなのか。これからの若い人にその熱弁を語り掛ける機会を作ってください。
- ・費用の面で具体的な数字を出してほしい。財源を示してほしい。
- ・担い手の拡大。高校生や中学生も視野に入れて知識の積み重ねをはかる。
- ・コンビニとの連帯も視野に入れるなど。
- ・窓口業務について、その人に合わせて便利な方法を選べたらいいなと思いました（小牧市とか）
- ・若い人の参加がほとんどない。自治会も若い人が参加してもらうよう日曜日に行事をする。
- ・手話言語条例を設定してほしいとお願いしましたが、いきいき条例があるからという答えでした。福祉的な面ではなく、言語的な面で考えていただければと思います。コミュニケーションは聞く・見る文化が違うので、同じ日本語でも言語的なシステムが違う場合もあります。
- ・タウンミーティングなどは20代、30代、40代の方が出やすい日時での設定をお願いしたい。
- ・災害時の受け入れ（まちセン）も準備不足なのに名称だけカッコいいものを作っても、もっと住民の「今」の生の声を聞いてほしい。今回この会場に来られない高齢者・障がい者の方々の声も聴いてください。

- ・議員が誰も参加していないのはなぜ？住民に選んでもらい議員になったのでは？机上の仕事だけでは誰も救えません。
- ・見守り運動は理解しました。個人情報は何の部分まで共有するのですか？
- ・石部文化ホールが甲西文化ホールに統廃合されるのであれば（とても残念ですが。）、甲西文化ホールをもっと充実させて頂きたい。
- ・石部図書館を周辺施設の利活用を検討しながら統廃合とありますが、時間をかけて多くの人の意見を聞いて進めてほしい。貸し借りの充実だけでなく、石部図書館には司書を置いてなんとか生きた図書館であるようにと、多くの人が望んでいると思います。
- ・若い人が話し合いにもっと出やすくするためにはどうしたら良いか。若い人を交えて話し合えるところを作り、市の方からもどんどん出てきてほしい。
- ・石部図書館の廃止はやめてほしい。専門の司書のいる図書館をしっかり充実させるべき。4つのまちせんに分散するだけではダメ。それでは図書館といえない。石部文化総合センターはまだ築33年でSDGsと矛盾している。拙速にすすめるな！
- ・答えが建前的なものばかりで、市長がよく言われる心が伝わってこない。小規模多機能自治の現実的な実例を報告してほしい。

理解度

理解できた	ほぼ理解できた	あまり理解できなかった	理解できなかった	その他	合計
2人	13人	12人	2人	7人	36人

菩提寺まちづくりセンター



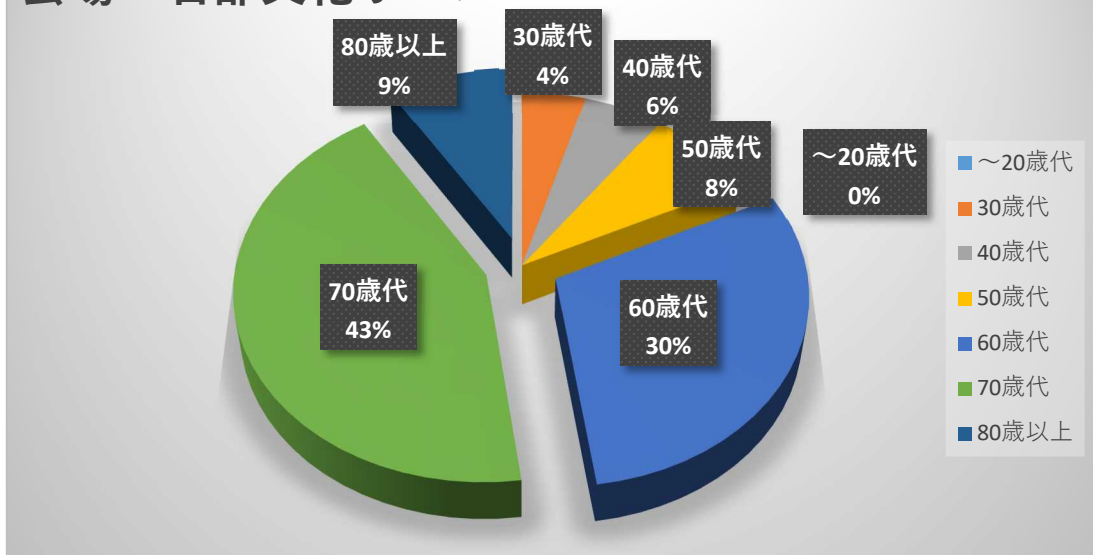
## (6) 石部文化ホール参加者からのアンケート結果

※相応しくない表現が含まれている場合がありますが、原文のまま転記しています。

### アンケート回答者年齢構成

～20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代～	合計
0人	4人	5人	7人	27人	39人	8人	90人

### 会場：石部文化ホール



### ～今後のまちづくりについて～

- ・まちづくりの中心にいるのは市民です。はっきり言って市民不在。これではまちづくりは出来ない (まちづくりの在り方は今後考えていく必要がある)
- ・子どもたちが自由に学習できるスペース、図書館がほしい。児童館がほしい。
- ・高齢のため耳が聞こえにくい、目も見にくいので資料だけ貰いにいきました。ゆっくり読ませていただきます。
- ・本日、企業に対して自治会活動に協力する社員に対して優遇するよう働きかけることも大事との意見。企業を巻き込むことも大事。
- ・タウンミーティングへの参加は初めてですが、役所と住民の考え方がこうも違うのはおかしい。もう少し説明がほしい。
- ・近年とくにコロナ禍より自治会の脱会が急増し、若い世代の加入はなく自治会が成り立たないのに、この機能は無理だ。むしろ行政が主導していかないと成立していかないと考える。

- ・大きな案件は役場、後の詳細は地域住民任せと感じました。
- ・元々石部在住の者ではないが、石部（東海道51）の歴史を残せるものを考えたい。（未来の子供たちが皆知れるように。）
- ・説明会だけでなく、シンポジウムや勉強会などをして住民とともに地域の課題を考えていくものが小規模多機能自治の在り方であると考えます。全国的に市町の取組事例を見ている、湖南市においては住民に寄り添えていない。勝手に文化ホールを壊すとは遺憾だ！と思われても仕方ないです。住民投票してください。図書館は残してください。道を作るなら壊さなくていい。次の建物が決まってから壊せばいい。
- ・サービスが落ちないよう。税収だけの判断ではだめ。石部自治会加入者が30%とほかに比べて特に少ないとの事。原因追求してアドバイスが必要。
- ・一部住民の負担（役回りなど）にならないフラットな環境づくりに。
- ・自治会とまち協の二重自治が市民をしんどくさせています。役を受けるのは限られた人。市役所が統一してほしい。まち協のトップに議員さんを据えて、要望を中央に持って行ってほしい。
- ・宮や寺もまた高齢化の波にさらされています。政教分離の法律は分かるが、これらを地域で援助する方策はないでしょうか。教えてください。
- ・現在の小学校区で、時間をかけて「まち協」と「自治会」の繋がりが構築されていると思います。その中身は防災や環境が先立って整理されており。中学校区での統一はまだ先のこととおります。
- ・東寺に住んでいて、父は70代で白内障緑内障を患っていたため「危ないから免許返納したら？」と何度も声をかけましたが、「車に乗らんかったらこんな所で生活できひん。」と言い、昨年他界するまで車に乗り続けていました。ほかの地区に比べ住民が少なく需要が少ないのは理解できますが、コンビニもなく、バスも1時間に1本という現状をどうにか、少しでも地域差による不便さを解消して頂きたいです。
- ・市役所の方だけで話を進めるのではなく、市民の意見を聞いて頂きたい。今回のタウンミーティングも「知ってる人は知っている」という状態なので、もっとこのような場があることを広く知らせて頂きたいです。私は仕事柄知ることができましたが、周りは「何それ？」という状態でした。
- ・石部宿であることが生かされる街になればよい。
- ・多機能自治を進める中で、行政・まち協・区は各々の役割をどのように連携して何をやるのかわからない。明確にすべき。
- ・ただひたすら「図書館」をつぶさないでほしい、その気持ちを今日持ってきました。
- ・小規模にしたら担い手が増えるのか？ 一体だれが担い手となる？？

- ・3会場に参加したが、若い方の参加が厳しい。私自身も声掛けはしたが来られていないことが残念。市民の関心をどうやって向けてもらえるかが一番大事。
- ・小規模多機能自治の必要性は充分感じました。担い手不足をどうするのかという大きな課題がありますが、地域の草刈りや溝掃除等の行事に出てくる子どももほとんどいない。親世代の家庭での考え方も問題があったんじゃないかと思う。塾優先、スポ少優先でやってきた結果。
- ・子ども連れで集まれる場所がほしい。石部まちづくりセンターは他のセンターと違って、調理室も小さな子どもが使える部屋もなく、ママ友同士が集まれる場所がなくて残念です。子ども食堂や居場所作りのカフェもできる場所がない。
- ・高齢者中心でなく、これから湖南省ですずっと暮らす世代の声が反映できるまちづくりを望みます。

### ～小規模多機能自治センターに備えたい機能～

- ・図書館、子育て支援センター、児童館、ホール
- ・一度に全てを備えるのではなく、今後地域住民と話し合いを重ねて機能について検討すべき。
- ・図書館も西庁舎も残してほしい
- ・意見は色々ありますが、同じところに固めてほしい。子供や高齢者の居場所作りは必要です。
- ・地域の集会場の機能との融合を考えてほしい。
- ・文化的な活動ができる場所。機能を備えてほしい。
- ・1か所に集中してサービスに問題がないならOK。図書館は個所数が多いほどサービスが良いのは当然。ばらしての対応は論外だと思う。5万冊→3000冊になる。
- ・住民一斉配信できる仕組み。（だれでも利用可能）
- ・自治センターは市職員が責任をもって運営するのか。資格のない人たちが運営するのはおかしいのでは？
- ・人が多く集まるセンターとして住民の意見を多く聞き、コミュニティの場としての機能を持った施設を期待したい。
- ・外観も含めて宿場町にふさわしい館。

- ・進めさせて頂きたい、という市長の最後の発言はおかしい。小規模多機能自治の推進、参加者のほとんどの方が今は賛成ではないと思う。半歩下がって考えるべきである。
- ・子ども・高齢者の憩いの場になれば良い。
- ・免許を返納した者に対する配慮。
- ・現在自治会を退会すると新聞折込のみで広報に関することは手にできません。（自治会はず1枚渡してくれません。）新自治センターでは全市民が手にできるよう考えてほしいです。
- ・若い世代を含めた多くの方が、用事が有る無しに関わらず、気軽に尋ねることができる場にしていきたいと思います。もしもの時、いざという時に普段の繋がり、関わりが重要なので。
- ・デジタル化に対応するための整備をできるだけ早く設置を。担い手不足を改善するための担い手育成を、この小規模多機能自治で行っていくべきだと思います。
- ・図書館機能を設けてほしい。図書館は本の貸借だけでなく文化施設です。図書の閲覧や調べもの、学生が気軽に勉強できるような場にする事で、もっと市民が利用しやすく、集いやすい場になります。またスペースを使って文化行事なども開催することで、文化センターの機能も小規模ながら果たせると思います。
- ・行政上の手続きや相談ができるようにしてほしい。東庁舎に一本化されては市民にとってますます不便になります。
- ・市職員がどの部から何名常駐するのかの説明がないので、説明がほしい。その他具体的な体制がわからない。
- ・図書館。石部図書館と甲西図書館を統合し、代わりに移動図書館があるので利用してくださいとおっしゃりましたが、移動図書館と石部図書館の規模は違い、図書館でゆっくり本と触れる場所が石部から無くなるのは寂しいです。高齢者になると甲西までは遠いです。
- ・西庁舎でできたサービス、加えて東庁舎でなければ出来なかったサービスを含め、全行政サービスがDX化で出来るようにしてもらわなければならない。
- ・子育て相談や介護相談ができ、同じ境遇の人が集える場所。
- ・イベントや災害時に使える広い調理場。
- ・福祉や教育関係の相談窓口
- ・子ども連れで参加できる行事などの発信

- ・一時預かりや子育て相談ができる場所、日々の困り事、なんでも相談できる場所

### ～その他の意見～

- ・箱を作ることに決めました。これから中身を考えます？順番が逆でしょう。
- ・公共施設を営利目的にも開放してほしい（利用金額増額しても良いので）。甲賀市のように起業サポート（個人にも）してほしいです。
- ・昔からの旧東海道の宝物も大事にしたい。
- ・役場仕事はスリム化ばかりのように感じました。
- ・石部図書館による市民の喪失感をなくすこと。とりあえず不便さを消すことを願います。
- ・急に3か所をつぶすと聞き驚いて参加しました。広報も読んでいますが広く市民に現状を知らせる努力もお願いしたい。
- ・空き家を活用して移住者を呼ぶ施策をしてほしい。
- ・平和堂石部店の3階が空いています。マルゼン石部店にも空きスペースがあります。間借りして図書館と西庁舎の機能を置いてはどうですか？
- ・市民の声を聞いて計画の見直し要。
- ・スケジュールを添付しなかったのは、意図的と思われるのも仕方ないと思う。
- ・文化センター・市役所を解体して自治センターに建て替えるメリット、解体費用、東庁舎にまとめるといくらの費用が浮くのか、人件費はいくら削減できるのかを明らかにすべき。
- ・しっかり協議の上すすめてください。住民サービスを向上拡大させるには小学校区では？
- ・無駄を省くならまず最初に議員定数を削減せよ！
- ・図書館にじっくり見て借りるのがありがたい。借りるのに題名や本の名前をいちいち調べていくのは難しい。
- ・文化ホールと図書館の問題はわけて考えるべきです。図書館機能は残すべきだと強く訴えます。

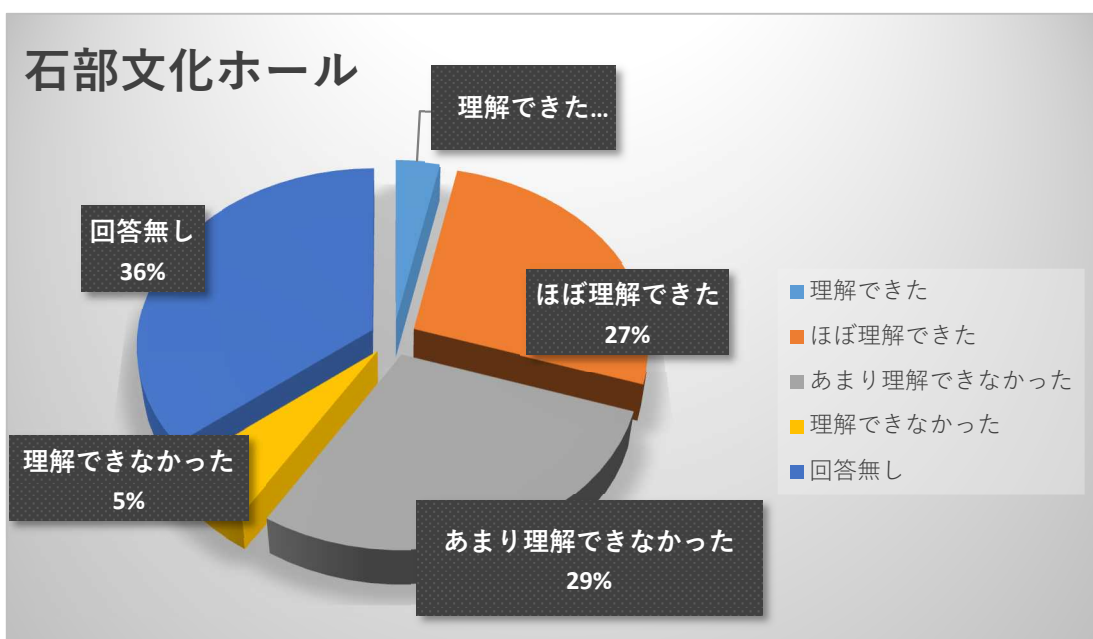


- ・タウンミーティングの内容は理解できたが、納得はできません。余りにも具体案が示されていない。
- ・公平な考えを大切に、自治会加入者も入っていない人も平等だと思う。
- ・石部駅前の湖南省の塔の時計の針が3年くらい止まったままです。動くよう管理願います。
- ・市民にとってのメリット・デメリットを丁寧に説明すべき！市民は理解していない。
- ・湖南省は誰を対象に多機能自治を置くのか。情報が伝わるのは自治会員（町内会員）であるので、自治会員を残すことをまち協や自治会に丸投げせず、市としても手を打ってほしい。
- ・行政として市民に対して自治会加入推進を強く進めてほしい。
- ・行政からのアピール（周知）が下手
- ・具体案が出来てからタウンミーティングが必要
- ・現在の石部図書館をなくし、移動図書館まつぞう君での対応は反対です。移動図書館で間に合わせないでください。市民の声をしっかり聴いてください。司書の常駐する図書館にしてください。
- ・【石部文化ホールについての市長の発言について】石部文化ホールの利用が年間10回位で少ないとおっしゃいましたが、運営に関して行政も力を尽くしましたか？少し疑問に思います。あまりにも丸投げ過ぎてはいませんか？今年度からは市の直属になったとの事。ソフト面が大事。精一杯の市長の関わりをよろしく願います。石部地区を代表する建物と中身を皆で考えていけるように、次世代に何を残していくのか、意見を沢山聞く機会を作ってくださいね。今日は会場に若い方の姿も見られます。うれしい事だと思います。これからの湖南省を真剣に考えている方が集る機会になったタウンミーティングだと感じています。
- ・図書館と文化ホールをなくす件は、このままですと決定してしまいそうだった。時間をかけましょう。もう一度考え直すのも選択の一つです。
- ・内容は理解できるが承服しがたい。湖南省には人も金も無いから、市がやっていた仕事を私たちに無給でやらせる、という構想。
- ・公共の施設を使うために団体の名簿を出させるなど、プライバシーの侵害がある。
- ・施設が使いにくくて「利用者が少ない」と施設が廃止されていくのではないかと
- ・「進めなあかんことを進める」と強い口調でおっしゃる限りでは、具体的な方針があるはず。それを市民に伝えずにトップダウンするつもりなら独裁者と同じ！

- ・石部地域だけが今まで優遇され過ぎていたのではないか、と感じた。
- ・タウンミーティングはとても良いことだと思った。
- ・図書館は2つどころか、せめて4つに、出来れば小学校区に1つあるくらいの文化都市を目指してほしい。次の時代の準備？そのために一番大事にすべきことは市民の声を聞くこと！
- ・若い家族が住みたい市に、福祉面で良くしていくことが実現できれば、人口減少に少しでも歯止めが出来るのではないのでしょうか。
- ・小規模多機能自治センターにも市職員を配置するようにして、東庁舎とはオンライン会議にし、東庁舎に人員の余裕面積を作る。今は非常に混みあった机配置が気の毒だ。
- ・めぐくんは乗りたくても乗れない。通りません。どうかしてください。お願いします。
- ・理解はできたが納得はできていない。
- ・石部の人の発言から湖南省という言葉でなく「石部町」ばかりの発言にがっかりした。市が進めるプロセスに課題があるとしても市が訴えていることは理解できるし、公共施設のスリム化は必要だと感じた。
- ・「市民」の意見って言われる参加者もいらっしゃいましたが、声を大きくあげられ人だけが市民ではありません。こういったアンケートで発言できなかった市民の意見にも耳を傾けてください。
- ・今回のタウンミーティングでは高齢者の発言が多く、将来性が感じられなかった。しかし、発言できるような雰囲気ではなかったので、これから先を担う人の意見が伝えられる場やネットアンケートなどがあればいいなと思います。
- ・石部は買い物できる所や病院がたくさんあって暮らしやすい場所だと思います。
- ・子育てが終わり、何かできることがないかなと考える年代です。ボランティアなど自分にできることがあるか、どこに行けば情報が得られるか知りたい。

理解度

理解できた	ほぼ理解できた	あまり理解できなかった	理解できなかった	その他	合計
3人	24人	26人	5人	32人	90人



## 8 新たな広聴の取り組み

タウンミーティングでの実施する広聴機会には、来られない方。会場には行けないが行政が何をしようとしているか知りたい方に、YouTubeを利用し情報を発信するとともに、ウェブアンケートを実施しました。

### (1) 湖南省YouTube公式チャンネルによる配信

秘書広報課では、タウンミーティングの資料に音声による解説を加え7月28日より「湖南省YouTube公式チャンネル」説明動画の配信を開始しました。7月28日と8月18日にタウンメールとLINEにより告知を行い、7月28日から8月31日までの間、意見の募集を行いました。当動画の閲覧回数は8月31日までに650回を超え、36件のご意見をいただきました。

### (2) アンケートの概要

#### ★小学校区別アンケート提出件数

小学校区	件数
三雲東	0件
三雲	5件
石部	11件
石部南	2件
岩根	4件
菩提寺	2件
菩提寺北	1件
下田	4件
水戸	4件
その他	3件
計	36件

石部図書館と石部文化ホールの廃止と新たに仮称石部小規模多機能自治センターを建設する方向である石部中学校区の方からのご意見が1番多く36件中13件となり、続いて日枝中学校区からは8件、甲西北中学校区から7件、甲西中学校区から5件のアンケートの提出がありました。

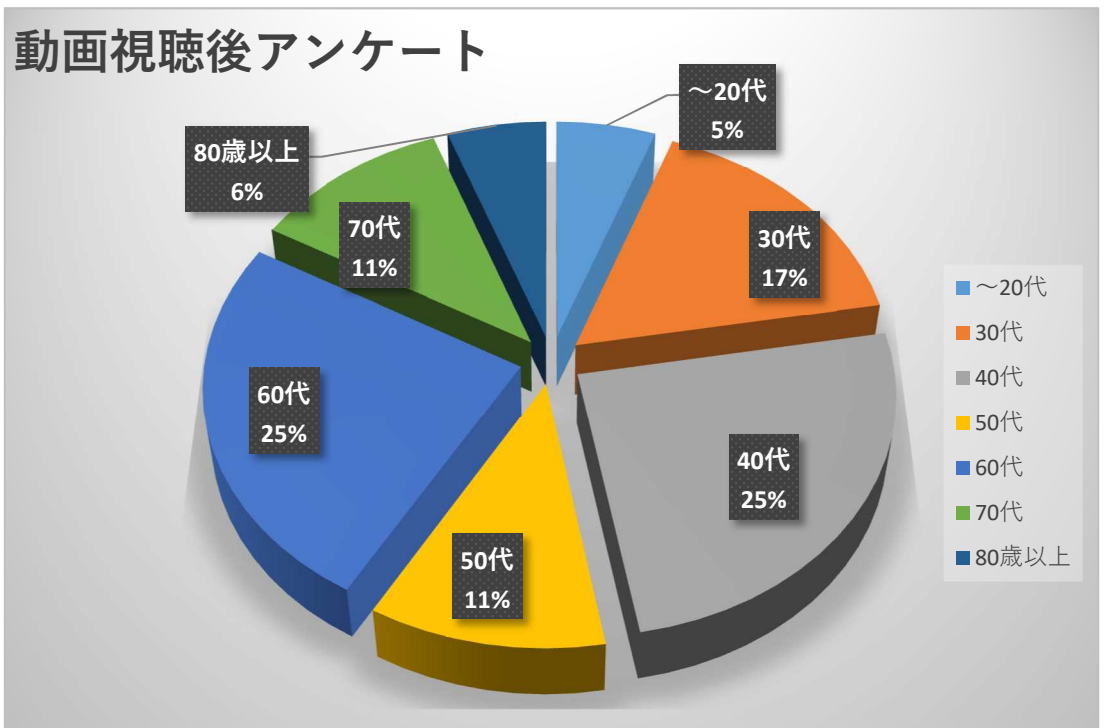
★★年齢別アンケート提出件数

年齢	件数
10歳代	1件
20歳代	1件
30歳代	6件
40歳代	9件
50歳代	4件
60歳代	9件
70歳代	4件
80歳以上	2件
計	36件

60歳未満の年代の方からのアンケート回答が、36件中21件におよびました。

タウンミーティング時におけるアンケートの回答と比較すると、若年層（地域の若手）から回答をいただくことができましたが、動画の閲覧回数に対するアンケート回答率はおよそ5.5%でした

動画視聴後アンケート

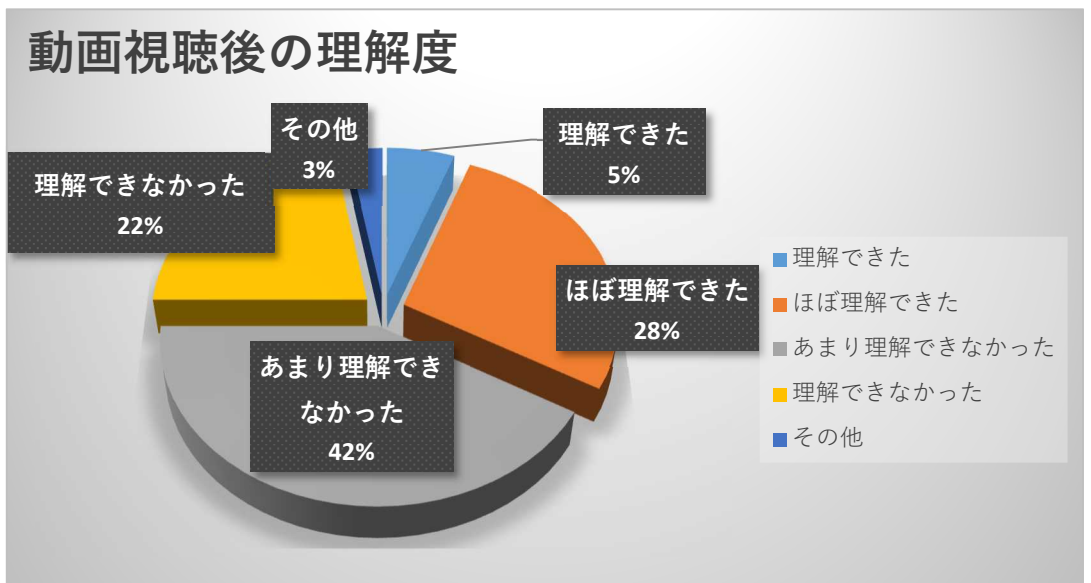


★★★動画による説明の理解度

理解度	件数
理解できた	2件
ほぼ理解できた	10件
あまり理解できなかった	15件
理解できなかった	8件
その他	1件
	36件

「理解できた」「ほぼ理解できた」と答えられた方は、全体の1/3程度に留まり、タウンミーティング実施後のアンケートと比べて理解度は低い結果となりました。

動画視聴による説明は、タウンミーティングのように質疑と回答がないことから低下の要因となったことが、推測されます。



(3) アンケートでの意見内容

○今後のまちづくりのあり方についてのご意見○

・各種公共施設の統廃合は良いと思います。現在、公共工事や市・自治体からの依頼を請け負っている事業者が、維持・存続して行けるのかが心配です（例えば道路・上下水道に関連する保守や、国・県道沿いの環境美化等）※現在でも行き届いてないと感じている。

・必要最低限の機能さえあればいいかと思います。地域が必ず担わないといけないことを明確にすることが大切かと感じます。

・若者がもっと関わる環境を作ることが大切。そのためには、地域リーダーの意識改革を進めるべき。このままでは地域組織の担い手はおろか自治会の脱退もさらに進むと思います。自治会単位での現状を見直すことが必要であり、市やリーダー任せではいけません。

・役所の業務の縮小と各自治会及び住民の関わりの増大をと理解した。

・見切り発射すぎて地域も行政も混乱していると聞いています。

大風呂敷敷げると地域から反発。今までと変わらないよ安心してと説明すると、今後何も地域に頼めないし、それならそもそも何でこんなことに取り組んでるのかっていう根本的な問題。身動き取れなくなってる。

市長も問題あるが、事務方も市長の意向に沿ってイエスマンで無責任に進めるのではなくて、責任感をもって対応して欲しいと思う。部長など幹部はなおさら。

本件は泥船化している。

・西庁舎がなくなることは聞いていましたが、石部図書館等がなくなることは全く知りませんでした。市の広報等は毎月チェックしていたのですが、一体どこで周知されていたのでしょうか？計画段階で我々市民に意見を求めることはありましたか？

市民に十分に知らせることなく一方的に事業を進めるようなまちづくりに、未来は無いと思います。

・石部図書館の廃止に反対します。

- ① 移動図書館車では閲覧本も限られ、月に一回しか巡回しないなどとも図書館の代わりにはならない。
- ② 現在のオンライン貸出システムは不完全で、貸し出し中の図書しか予約できず、書架にある本は図書館に出かけなければ予約も貸し出しもできない。
- ③ 石部から甲西図書館へは車を持たない者は、石部から甲西へのバスも廃止され簡単には行けない。現行のオンデマンドタクシーは一時間前に予約が必要、タクシーの都合で発車時刻が決まるなど、時間的ロスが多く、利用しにくい。
- ④ 石部図書館の蔵書は10万冊、とのことでこれは市民の宝である。古い書物は絶版になるものも多く一度手放せば二度と読むことが叶わなくなる。よって安直に処分すべきではないと考える。従ってどうしても今の図書館を取り壊すのならば新しく建設する建物にすべての蔵書を移し離散を防ぎ、図書館を維持してほしい。維持管理費の問題があれば、経費削減の工夫で乗り切れたらと思う。

・自治センターを運営するのは、市職員がメインであることの確認が欲しい。タウンミーティングでの皆さんの説明では、節々に住民・まち協・区・ボランティアに任せて市職員が手を引くような思惑が感じられました。

・庁舎の建て替え設計まで完了しておいて、また1からお金かけて計画からやり直すなんて馬鹿げている。

・小規模多機能自治センターに備える予定の機能を早く示してほしい。何がどうなるのか具体案が出ないと市民も考えられない。（「小規模多機能自治センター」という言葉だけ独り歩き、という印象）

・石部図書館を存続してほしい。（廃止する理由が明確でなく、納得できない）

・3月議会で議決したらしいですが、議員諸君がまだ十分理解していないのに議決だけ急いだところが理解できない。議会を甘く見てるか議会が情けないか。

・下田の競技場野球場のなくなるのを何とか存続してほしい??維持の為に人手が要るのは分かる。市民参加の活用アイデアに知恵をしばれ！荒廃していくの見るに堪えない??生田市制を疑う??

・原因と課題：本格的な人口減少社会を迎え、地域における課題がますます多様化する中、今日までのように行政が担う役割も今後は限界となる

対策：地域まちづくり協議会や区・自治会などの地域運営組織のあり方や、地域・民間事業者、（行政）がそれぞれ担うべき役割を見直すことが必要。行政では手におえないから住民でやってくれということですか？結構な時間と税金を使いながらいまだに問題が解消しない差別解消とか男女共同参画とか・・・これは対策（実施内容）に問題が有るのか、そもそも問題は存在しないのか、何をやっているのか効果の確認/検証されているのでしょうか。今回の活動もNPOと共にでしょうか。市の現状予算枠内での実施（増やさない：人口が減る/少子化＝若者が減る＝> 税収が減る）とし、住民への負担を増やさないように、助成金補助金支援金（税金）の用途は明確にし、支給先の選定は厳正にかつ公にし、会計監査も公にしてもらいたい。

・石部文化ホール廃止は反対。図書館も継続でお願いします。

・本当に小規模多機能自治というあり方が湖南市にあるかを検証されての提案なのかがよくわかりませんでした。

一方的に進められている感がものすごくします。

・交通の便を便利にしてほしい。

・ファミサポのような感じで介護とか送迎とか託児などが地域で出来たらいいと思う。あとまちづくりセンターをもっと機能的にして皆の集まれる場所にしてほしい。

・駅を中心とした賑わいあふれるまちづくりを進めてほしいと思います。

・地域や区によって、少子高齢化率やまちの活気が、かなり差があるので、小規模多機能自治により広く均等に統括できる機能が広がるのならば賛成です。こちらでは、自治会加入者、未加



入者で対立関係にあったり、子供会の消滅も将来的に近づいており、地域の限界を感じています。田舎ほど、村の長老や高齢の方たちの意見や結束が強く、疎外感が否めません。若い子育て世代が少ない為に、どうしても高齢の方の権限が強く、正直、ここで子育てをしていくかどうか、より子育てしやすい場所へ移り住むべきか検討したくなることもあります。こういった点から、若い世代は草津や栗東へ出ていく方も多いです。地域の過疎化はますます避けられません。その点をふまえて、差別のないまちづくり、助け合える地域づくりの早期実現が理想です。

・校区ごとに区切って、自由自治でって感じで、市役所は采配だけで何をするんでしょう？

・小規模多機能自治については、異論はないが、具体的に何をするのかが見えない。地域包括支援センターなどは基本的には高齢者を対象としており、若者世代が生き生きと暮らせる政策をもっと教えてほしい。まちづくり協議会も、おじさんの集まりであり、もっと若者が入り込めるように変えてほしい。

・石部文化ホール 図書館 西庁舎をなくすことは 絶対に許しません！ 合併前に 合併協議会でも 約束されているはずです！ 今 進められている自治の考え方と 全く矛盾しています！ なくなることを 知らない住民が 多くいます ごまかしては いけません なくすことは 絶対に 許しません！！

・小規模多機能自治実施についてもっと住民の声を聞いて集めて、具体的なものを作り上げていくべき。石部文化総合センターや図書館をなくすという決定は、そういう意味で拙速気味。納得いかない。

・市の進めたい方向について具体的に説明してもらいたい。形だけのミーティングでなくもっと住民の声を聞いてもらいたい。

・湖南市の少子高齢化が進んでしまっているのは理解できますが、高齢者への対応や対策などが「まちづくり」となっているように感じました。これから担っていく子どもや子育て世帯は、後回し、もしくは眼中にないと言われているのではないかと落胆しました。湖南市の掲げる小規模多機能自治は高齢者のためだけの施策なのですか？ また、地域で地域でとおっしゃいますが、地域で解決出来ないことや若者の減少により地域をサポート出来なくなっていることが増えてきている湖南市では、行政の公助の出番ではありませんか？ 湖南市の少子高齢化の程度となると、過疎地の病院と同じく、集約化し、移動手段の整備をしたほうが満足度に繋がるのではないかと感じます。その他意見は以下です。

・今年度から子どもや子育てに関する手続きが東庁舎1か所で出来なくなりました。特に出生時の、めでたくも慌ただしい中で手続きに来た人を徒歩圏にない施設へ行かされるのが理解出来ません。ましてや高齢者のようにバスの無料乗車券で、無料で移動出来るわけではありません。高齢者以外も様々な理由で移動手段が限られる人はいらっしゃるでしょう。

・耐震診断で基準に全く届かない東庁舎を建て替えるのではなく、補強増築程度で何が守れるのでしょうか。そもそも行政のましてや防災拠点となる建物に耐震診断を無視した愛着など不要です。災害時に崩壊する可能性のある建物で地域のために一生懸命に働いている職員の方々が不憫でなりません。またそこに様々な自分の情報があると思うと不安でしかありません。そして小規模多機能自治を掲げるのであればこそ、現在のあちこちに散らばっている行政施設を、文字通りに市役所庁舎1か所にコンパクトにまとめて、将来的にも長く使える頑丈で多機能な庁舎にて替えて、行政との相談ごととはそこに行けば良いという分かりやすさが必要ではありませんか？ ・地域で解決出来ていない課題がたくさんあるとのことですが、具体的にそれは何ですか？ また、解決出来ていない理由は何ですか？ ・小規模多機能自治のための整備に地域にある建物を改修予定だという文字も目にしましたが、一体いくらかかるのですか？ 維持費はどのくらい必要になるのでしょうか。そこに配置される人の人件費や民間にというのであれば委託費など小規模と言いつつ莫大な金額がかかりませんか？

#### ○（仮称）小規模多機能自治センターに備えてほしい機能○

- ・住民参加のプロジェクトを希望する。
- ・気軽に市民の困り事を相談できる窓口があれば良いと思います。（すでにあつたらすみません）インターネットを利用し、夜間や休日にもオンラインで対応してもらえるとありがたいです。
- ・あれもしてほしい、これもしてほしいと要望があり、実現が不可能になるのであれば、最小の機能でいいかと思います。
- ・高齢者などでもわかりやすいオンライン窓口。
- ・図書館のように、自由に本や新聞などを読めるコーナー。市役所の総合案内所
- ・センターに配置される行政職員は、業務内容に精通された方を望む。
- ・副市長を備えてほしい。
- ・図書館、西庁舎と同等の機能
- ・ステージを残して欲しい。
- ・現行の建物を取り壊して新しく建て替えるのなら石部図書館を移してほしい。
- ・住民が憩える施設で、  
① 若い親が、子供・赤ん坊を連れて気軽に遊べるキッズコーナー

- ② 高齢者が、散歩のついでに寄って雑談ができるコーナー。そこではコーヒーなりも飲める。
- ③ 住民が、図書を閲覧できる2,000冊程度の書架と借り出しと返却ができる機能。4カ所の自治センターで半年毎なりに、2000冊をローテーションさせる。要望の高そうな本は、甲西図書館と自治センター用の2冊ずつを購入する。
- ④ オンライン窓口で各種証明書・申請をするとき、操作をサポートする職員の配置。

・石部図書館を廃止するのなら、石部の小規模多機能自治センターには、図書館の機能（図書の貸し出し・返却機能だけでなく、図書館として本を並べて、相談できるようなこと）が必要。

・税金を使うなら、権利が集中しないように、いつでも監査できるように。

・心臓マッサージの機械、非常時の避難場所、こどもの遊びや勉強スペースなど

・仕事や勉強が自由にできるコワーキングスペース

・カフェやスポット的なイベント、ワークショップ、子供の居場所や図書機能など様々な事を総合的に掛け合わせた場所があればと思います。

・自治会、まちづくり協議会、コミセン、サンヒルズ→自治センター名称がどんどん変わるばかりで自身は何が違うのかよくわかりません

・具体的に何をするとところか分からないので、分からない。若者がまちづくりに参画できるような機能がほしい。まちづくり協議会のように、おじいさんの趣味や嗜好で決まる制度では、参画したいと思わない。

・この施策や施策の進め方に 全く反対しているので センターは 必要ありません

・市がこういう機能を備えたいと説明してもらわないと要望も出せません。

・そもそも小規模多機能自治センターを市内にバラバラと新しく設置するより、行政機能を1か所に集約化し多機能で分かりやすく、明るい希望を持てる市役所に建て替えて、そこへ行くための選択肢の多い移動手段の構築を考えてほしい。

### ○その他ご意見○

・行政の最少の自治組織は自治会だと思いますが、今の自治会との関係はどうなりますか？

・市民が不要だと感じてしまう公共事業はやめて頂きたいです（例えばイオンの横にあるハットは良い例かと）あと、市民グラウンド跡地を有効活用して欲しいです。

・社会ニーズが多様化しすぎており、行政への要望が膨らみ続け、それらが実現不可能になることを見据えていることも、今回の取組の一因になっているのかと思います。現実的に、継続的に実現ができる施策を見極めながら実施していくことが求められているように感じます。

・市長任期があと一年と少ししかありません。二期目を現在の市長がやるという事が確定しない限り何も進まないのでは。市長、職員、市民 誰もイメージできていない。庁舎も結局建て替えなかった事で余計なコストがかかっていると聞いています。これ以上余計なことをしないでください。

・定年が迫ってる部長や課長といった管理職員が市民に説明をいくらしたところで、説得力がないよね。そんなことよりやらないといけない事たくさんあると思います。

・会場で批判的な意見がありましたが、ごく一部だと思います。初めて聞いたとか周知がどうだとか言われますか、説明を聞いてどう考えるかだと思います。理解できない人は理解する気がない人も多い。方向性が市議会で議決されたことは大きいし、市議会議員は議決したことに責任を持つべき。このことを議員はどれだけ周知してきたのでしょうか。市も議会も責任逃れはやめてください。

・湖南省の小規模多機能自治センターのYouTubeを拝見しました。現在の石部文化ホールを取り壊すと、前の道路の右折レーンが増え、渋滞の緩和になるとの事で、確かに車にとっては良いかも知れません。同時に歩行者の安全も確保お願いします。個人的に、80歳を過ぎた高齢の親が近くに住んでおり、いつも、あの信号を渡って、図書館に立ち寄り石部平和堂に買い物に歩いて行くのをルーティンにしております。

- ① 車線(車道の幅)が増えても、高齢者が安全に道路を渡れるように検討していただきたいです。また、平和堂側にも舗道ができるとより、安心です。(買い物などにも安心して行ける生活にも密着した小規模多機能自治センターになって欲しいです。)
- ② 今の計画では、文化ホールを壊して、計画を立て、新しいセンターが建設される。その3年もの間、免許返納した高齢の親は、徒歩圏内に憩いの場が失くなります。取り壊しから、新しい多機能自治センターが開設するまでの期間だけでも、西庁舎の空きスペースなどで、仮設の図書館を継続して頂けないでしょうか？

・2023年8月地域づくりの冊子から課題として3つ挙げられている。

- ① 既存の地縁組織と同じ構成員が運営を担うことで、本来の役割が果たせない。女性、若者、子どもの参画がポイントであるにもかかわらず、実現していない。
- ② 地域内の人間関係や既存組織との関係から、地区の代表権を得られず、地区内における「一組織」に甘んじている。じっくり時間をかけ、地域全体で理解を深める必要がある。
- ③ このような運営組織の立ち上げが必須であるのか、現状の組織の在り方や運営等を見直すことで、地域課題が解決できるのではないか。たとえば、各地域のまち協の組織や運営についての見直しなど。

・8月2日のミーティングに参加したが、出された資料があまりに大まか雑多なため意見を述べる事が出来なかった。今後なお進むであろう人口減少にあって、避けられない市財政逼迫化を睨みおよその方向性は窺えるが、具体的な所が可視化されておらず市民のとまどいがある。例えば4分割後の図書館とその機能についての意見が出ていたが、現状の2館を1館にただ減らすというのではなく、公共図書館の本来の役割と責務を担いなお将来性と夢のある図書館事業をどう継承するかを具体的に示してほしい。そのためには、専門性のある図書館司書の知見を活かした特別チームを作り、青写真を示してほしい。現場をよく知る現役司書の意見を十分に聴取し、小規模多機能自治にふさわしい方向性を構築してほしい。非専門性臨時職員の配置など図書館機能の後退につながる施策では、ますます夢がなくなる。

・本気で推進するなら2期目の進退を明らかにせよ。レームダック状態では誰も本気になれない。

・石部図書館閉館後、(仮称)小規模多機能自治センターに図書館の機能を有することができない場合は、石部近辺の子供たちやお年寄りが甲西図書館で本を借りやすくするために、移動図書館車マツゾウくんは甲西図書館開館日には毎日運行し、巡回する場所をもっと増やして、学校には休み時間に合わせて巡回してもらえますよね？  
もちろんそのための人員・設備も確保してもらえますよね？

・子供達が、自分達の思いや、練習したことの結果を発表できる、それを多くの人に見てもらえるよう、できれば今の文化ホールのような、ステージのあるホールを残していただきたい。

・文化ホールでダンスの発表会をしたい。

・生活する上に置いて、飯を食っていくために労働し家族を持ち次世代に繋いでいくための場所として居住してる訳で、当然居心地の良い町に永住し、住んでいくのに負担が大きい町からは出て行き居心地の良い町に移住することが自由経済の基本ですよね。人口減少もありますが、税金で生活している自治体職員の仕事まで肩代わりをさせようとするならば、引っ越しを考えないといけないですね。当然同じように考える人は私だけではないでしょう。人口が減り、予算が減れば、本当に必要な行事なのか？サービスなのか？効果がないものは思い切って行事をやめ、本当に必要な行事やサービスを残し自治の負担を減らす汗をかくのが自治体職員であり行政に携わる関係者の仕事ではないですか？別に、この町に持ち家はありますが、別にこの町にこだわってません。シンプルに生活しやすい町なら移住することもやぶさかではありません。私はサラリーマンではなく自営ですのでその辺りの考えはフラットです。今は、地域活動を必要なものを絞り、負担を減らす方向で考えないと、敬遠して逆に寂れますよ。ハットしかり、東海道沿いの施設、以前よりイベントが増えて煩雑化してませんか？本当に経済的に効果のある行事や施設ですか？市民に負担を強いるよりまずはダウンサイジングで効率と旧態依然の地域活動から変えていくのが先じゃないですか？時代に逆行して地域活動ばかり増やして魅力のある町になると本気で考えてますの？人流はかならず魅力のある方向へ流れます。水の流れと同じです。理想論だけ掲げて、綺麗事だけしか目を向けない活動をした所で、落ち着くところへ落ち着きます。私は町が

良くなって欲しいとかよりも、ニュートラルで住みにくくなれば出て行だけなのでどういった方向にすすむのか懸命な判断をお願いします

・小規模多機能自治センターについて議会で決まったこと、今後の予定を市民に周知してほしい。（議会の報告の中に入れて終わりではなく、別に小規模多機能自治センター関連の枠を取ってホームページに掲載するとか）

石部文化ホール、石部図書館廃止について知らない市民が多すぎる。

石部図書館廃止はまだ議会で決まっていなくても、今年度の閉館予定とか、石部文化ホール、石部図書館を来年度取り壊す予定などを早く知らせてほしい。湖南市版小規模多機能自治基本構想は、R5年3月にできているのに7月28日にHPに掲載したのなら、掲載が遅すぎる。

・安心・安全なまちづくりが必要だと感じます。小規模多機能自治の前に、ライフライン等が切断された場合の対応策など、しっかりと考えていただきたいです。

特に災害時の避難場所が山の近くにあることが多く、大雨・土砂災害時に安心して避難できません。冠水等も多いです。とても不安です。

小規模多機能自治センターにすることに対するメリット、デメリットをしっかりと示していただきたいです。申し訳ありませんが、小規模多機能自治センター設置ありきで動いておられるようにしか感じられません。パッと見た感じで申し上げるとすれば、行政はノータッチで小規模多機能自治センターでみんなで頑張るってね。という印象を受けました。このままだと、湖南市に住みたいと思う人がどんどん減っていくようにしか思えません。

・甲賀市希望ヶ丘では、まちづくり協議会から市の情報メインに回覧板が回ることになり、そちらは自治会未加入の方にも情報が行き渡ることになったそうです。そういった取り組みは、湖南市でも良さそうだと思います。

・湖南市は、旧一号線沿いにも空き物件がいつまでも目立ち衰退の一步をたどっているようにしかみえません。残念ですが、市に活気が感じられません。

・まちづくり協議会の多機能自治の学習会は行政がやるべきことです。湖南市の多機能自治はこのことからわかるように行政がやるべきこと責任を持つべきことを住民に押し付けようとする考え方です。この施策や施策推進の進め方に全く反対です。

また説明会や意見交換会このようなネットを使っての意見調査でみんなの意見を聞いたとか理解を得られたなどとごまかす行政や議会を今まで何回も経験しています。石部 甲西の合併の際もそうでした。住民の思いは ほんたうかでした。湖南市の行政や議会は そうであっては絶対にいけません。今回の多機能自治や文化ホール 図書館 西庁舎をなくすことを もっと 市民にしっかりと知らせることをしてください。これらをやろうとしている事自体知られていません。そのあと 選挙や住民投票で しっかり賛成か反対かを問うべきです！ 今回の多機能自治の推進や石部文化ホール 図書館 西庁舎をなくすこと 必ず そうすべきです。

- ・石部町と甲西町が合併するときの合意や約束はどうであったのかを思い出してもらいたい。
- ・今後も自分が湖南省で生きて、子育てもしていきたいと思える行政であってほしいです。公教育についても考えてほしい。例えば災害級の暑さの中、どうしても遠くに小学校があるため、何十分と重たい荷物がかついで歩く小学生や中学生にスクールバスがあってもよいのではと感じました。
- ・（2023/8/29新聞記事を読んで意見を提出される）石部文化ホールを撤去するという記事を見て、その理由が5つ程度書かれていたが、納得できるものではない。
  - ① 図書館の利用について  
石部図書館は甲西図書館に比べて利用が1/3とあるが、人口数からみて当然のことであり理由にならない。図書館は教育上大切なものなので、本来なら4つの中学校区に各々設ける必要がある。それでも石部図書館をつぶすなら、市民全体が利用しにくく一部の人が利用する甲西図書館も潰すべき
  - ② 文化ホールについて  
石部文化ホールの利用は年間10件ほどとあるが、甲西文化ホールの利用の数はどれくらいあるのか。耐用年数が27年もあるなら、無くさずに工夫して利用増を考えることはできないのか。
  - ③ 石部から甲西図書館や文化ホールが4 kmと近いという件について  
どこを基準に4kmと言っているのか。車に乗るのは一部の人であり、ほとんどの市民（老若男女）の日常生活を考えれば決して近くない。そのような考えは便利を不便にすることであり、もっと市民一人ひとりのことを考えてほしい。
  - ④ サービスの低下となるがやっていきたいという件について  
行政がなにをしたためサービスの低下となったのか、低下しないよう努力をしたのか、低下を黙って聞けというのか。低下しないよう行政としての努力を市民に示してほしい。

## 9 タウンミーティングを終えて

---

### 今後の広聴のあり方について

湖南省版小規模多機能自治基本構想のもと、これからのまちづくりと市政の方向性を検討するために住民ニーズを捉えることを目的として開催した今回のタウンミーティングでした。新型コロナウイルスの蔓延により、長らく大きな規模の開催ができませんでしたが、タウンミーティングの開催に期待されている声をたくさん聞くことができました。

湖南省版小規模多機能自治基本構想のスケジュールの中に石部図書館の廃止についての記載があったことから、実施された4会場において図書館に関連する質疑がたくさんありました。一方で、高齢化社会と向き合う中で、地域の近い所で行政サービスを受けられることに期待を寄せるご意見も多くありました。

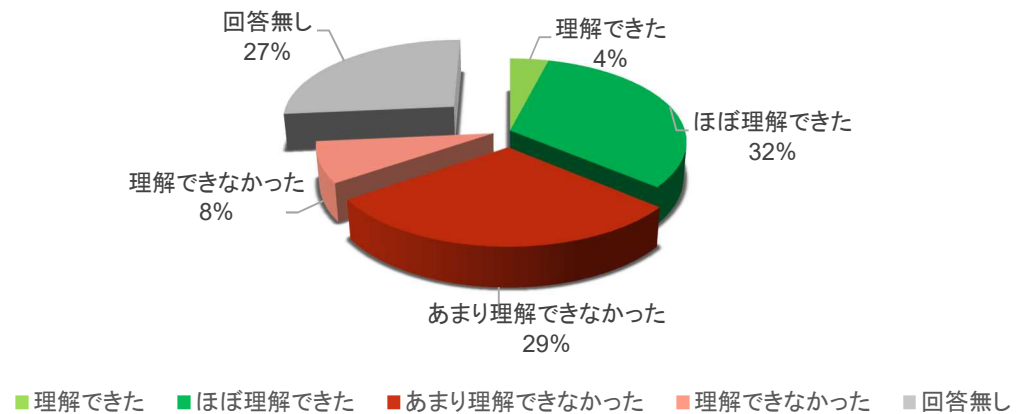
基本構想において示した範囲の中で説明を行なった関係で、各論的、具体的な内容については十分に説明がされていないという感想も多く、行政の関わり方について不安を感じられる意見もたくさんありました。また、これからの地域活動を担う若者のタウンミーティングの参加が少なかったことから、若者の地域活動への参画に関連するご意見・ご質問もたくさんいただきました。このことに関連し、若者からの意見をどのように聴取するかという問題提起がある中で、YouTube公式チャンネルによる動画配信も並行して実施いたしました。（結果は66ページ）

タウンミーティング参加者からのアンケートにおいて、回収いたしましたアンケートの約83%は60歳以上の方からの回答でした。一方でYouTube公式チャンネルを視聴した方からのアンケートは、36件と少ない結果となりましたが、60歳未満の方からのご意見の割合（約58%）が多く得られました。



テーマの理解度を比べれば、タウンミーティング後においては「理解できた」と「理解できなかった」は均衡していましたが、動画配信によるアンケートの理解度は「理解できなかった」が64%と「理解できた」を大きく上回る結果となりました。これは、リアルタイムに質疑応答ができることで、テーマに対する理解度が高まったのではないかと推測されるものであり、一方的な動画配信による説明だけでは十分に理解を得られなかったのではないかと考えられ、タウンミーティングのように視聴者の疑問に対し補足説明できる形式等を検討し、理解を深めていただけるように努めてまいります。

### タウンミーティング後の理解度(アンケート)



### 動画視聴者の理解度(アンケート)

